



第35回定期総会資料

千葉の会の24年度の活動実績と 今後の課題

会場：船橋市勤労市民センター

2025年5月11日(日)

千葉骨髓バンク推進連絡会

会長 梅田 正造



千葉骨髓バンク推進連絡会の紹介①

私たち「**千葉骨髓バンク推進連絡会**」は、白血病をはじめとする血液疾患の患者さんを救うため、**ドナー登録の推進**や**日本骨髓バンク**を支援する活動を行っているボランティア団体です。また、**造血幹細胞移植医療体制の充実**を訴え、県民の皆さまに骨髓バンクについて**正しく理解**して頂くための**普及活動**も行っています。

当会は、**91年2月**に結成され、現在に至っています。会員は患者関係者、医療関係者、一般ボランティアで構成されています。そして一人でも多くの患者さんとその家族が**笑顔を取り戻す日**が来るように、医療講演会・相談会及び「**コンサートと落語会**」の開催、イベント等での宣伝活動、ドナー環境向上のために**ドナー助成制度**及び**ドナー休暇制度**の関係機関への導入要請、千葉県のドナー登録者**2万3千人**を目標に**献血併行登録会**の開催、パンフレット・会報の発行による**社会啓蒙活動**、**ケア帽子**の病院への寄贈、「**いのちの輝き展**」開催などを行っています。

また、千葉県の公的機関である**千葉県造血幹細胞推進協議会**にボランティア団体の代表として会長が参加しています。



千葉骨髓バンク推進連絡会の紹介②

活動内容

- 定例会
毎月第1日曜日に船橋市市民活動サポートセンター(船橋駅前フェイス5階)にて定例会を開催しています(総会は5月)
- ドナー登録会
日本赤十字社献血会場での併行登録会に協力(県市町村役場、大学、ショッピングセンター、企業、募張メッセ、健康祭り、イベントなど)
- 普及啓発活動
 - ①ドナー登録会での普及啓発
 - ②チャリティコンサートと落語会の開催
 - ③会報の作成と各団体、医療機関等への配布
 - ④「あやちゃんの贈り物展」、「MAMOのメッセージ展」、「いのちの輝き展」等の開催
 - ⑤アクアラインマラソン、県内各地の健康祭り、イベント、企業祭り等でのPR活動
 - ⑥街頭キャンペーン
10月強化月間、各種記念キャンペーン、キャラバン
 - ⑦ポスターの掲示、チラシ・ティッシュの配布、募金箱の設置、報道機関へのイベント掲載依頼
- 各種団体への支援要請
 - ①県、市町村、千葉県赤十字血液センターへのドナー登録促進要請
 - ②ロータリークラブ、ライオンズクラブ、青年会議所等への支援要請
- ドナー支援
骨髓移植ドナー支援事業、ドナー助成金制度・ドナー休暇制度導入を県市町村、事業者団体等に働きかけ
- 患者支援
 - ①白血病フリーダイヤルへの相談員派遣
 - ②患者家族向け小冊子の配布
 - ③全国骨髓バンク推進連絡協議会に設置されている患者支援基金の紹介
 - ④患者さん用ケア帽の作製と病院への寄贈



始めてみませんか

ボランティアとしてどなたにでも出来る事がいろいろあります。
“骨髓バンク=登録”だけが全てではありません。さあ、あなたも出来る事から始めてみませんか。

会員になる

年会費：3,000円(学生1,000円)

定例会は、毎月1回開催

会員の方には、活動報告やイベントのご案内を掲載した会報を随時郵送致します。

現在、会員数約40名

参加する・PRする

何かやってみたくなったらお気軽に声を掛けて下さい。例えば、イベントでのティッシュ配りなど少しでもお手伝い頂ければ助かる事が色々あります。

参加することで新たな交流も生まれます。

日常のPRの一環として、骨髓バンクのポスターやパンフレット、患者支援募金箱を、あなたの会社や学校、お店や事務所などに置いて下さいませんか。

募金する

ボランティア団体として地域に根ざした積極的な活動を進めるため、資金面でのご協力を募ります。当会の運営は、会費と皆様からのご寄付によって支えられております。

【郵便振替】00160-6-547168

千葉骨髓バンク推進連絡会 へて

切手、はがき(書き損じ可)などによるご寄付もお受け致します。

相談する

(主催：認定NPO法人 全国骨髓バンク推進連絡協議会)

患者さんや家族のための窓口です。

毎週土曜日 10時～16時

白血病フリーダイヤル 0120-81-5929

(第2・第4週は血液内科専門医も相談に応じます)

千葉骨髓バンク推進連絡会

白血病などの血液疾患の患者さんを救うため、ドナー登録の推進やドナーの環境整備改善活動等を行い、素晴らしい骨髓バンクを築くための活動を行っているボランティア団体です。



全国キャラバンにて千葉県赤十字血液センター訪問 (H27年6月)

〒267-0054 千葉市緑区大高町18-37 北村方

TEL/FAX 043-497-5083

<http://www.marrow.or.jp/chiba/>

郵便振替口座 00160-6-547168

ゆうちょ銀行 店番019-0547168





千葉骨髓バンク推進連絡会の紹介③

愛と善意を結集した
すばらしい骨髓バンクを
築くために

私たち「千葉骨髓バンク推進連絡会」は、白血病をはじめとする血液疾患の患者さんを救うため、ドナー登録の推進や、ドナーの環境整備改善活動等を行い、素晴らしい骨髓バンクを築くための活動を行っているボランティア団体です。

また、造血幹細胞移植医療体制の充実を訴え、県民の皆さまに骨髓バンクについて正しく理解して頂くための普及活動も行っています。

当会は平成3年2月に結成され、現在に至っています。会員は、患者関係者、医療関係者、一般ボランティアで構成されています。

一人でも多くの患者さんとその家族が笑顔を取り戻す日が来るように、千葉県のだナー登録者2万人を目標に活動しています。

普及啓発グッズ

キティのポケットティッシュ



骨髓バンク登録記念 3色ボールペン



スノープーク (代々木公園)での登録会 (11月)



野田夏祭り羅り七夕 (8月)



イオン柏店幸せの黄色いレシートキャンペーン



成田市でのチャリティコンサートと講話会 (11月)



ケア帽子の作成と寄贈



臨海駅 (1月)



船橋フェイスでの定例会 (第1日曜日)



全国キャラバン 習志野市役所 (6月)



東馬込フリーマーケットでの登録会 (6月)



アクアラインマラソン (10月)



亀田総合病院での東のまき草植樹



『友情秋夜のパレード』での登録活動

ドナー登録受付は、千葉県内の下記献血ルーム及び献血会場でできます

献血ルーム	電話番号	住所	定休日
モノレールちば駅献血ルーム	043-224-0332	千葉市中央区新千葉1-1-1 千葉都市モノレール千葉駅構内	年末年始
運転免許センター献血ルーム	043-276-3641	千葉市美浜区浜田2-1 千葉運転免許センター内	※1
津田沼献血ルーム	047-493-0322	船橋市前原西2-19-1 津田沼パルコB館6階	年末年始※2
献血ルームフェイス	047-460-0521	船橋市本町1-3-1 Faceビル7	年末年始
松戸献血ルームPure	047-703-1006	松戸市松戸1307-1 松戸ビル1階	年末年始
柏献血ルーム	04-7167-8050	柏市柏2-2-3 榎本ビル5階 (1階みずほ銀行)	年末年始

※1 毎週土曜日、祝日、12月29日～1月31日 ※2 商業施設の休館日

骨髓バンク登録についてのお問い合わせは (公財) 日本骨髓バンクへどうぞ 03-5280-1789



千葉骨髓バンク推進連絡会の活動

1. 骨髓ドナー登録推進

- ①献血併行型登録会開催(説明員派遣)
- ②ドナー登録説明員の養成(研修会開催)

2. 普及啓発活動

- ①「コンサートと落語会」の開催
- ②「ちばアクアラインマラソン」での活動

3. 患者・家族の支援活動

- ①ケア帽子の作成、寄贈
- ②医療講演会、患者相談会開催
- ③フリーダイヤルに相談員派遣

4. ドナー支援活動

- ①ドナー休暇制度の促進活動
- ②ドナー助成制度の促進活動

5. 広報

- ①「いのちの輝き展」開催
- ②会報の発行

6. 講演、勉強会

- ①団体、学校等での講演
- ②ブロックセミナー参加



全国骨髄バンク推進連絡協議会

特定非営利活動法人・**全国骨髄バンク推進連絡協議会** (略称: 全国協議会) には、日本全国で骨髄バンク推進のために草の根運動を展開している**ボランティア団体が会員として加盟**しています。

その加盟団体は主に都道府県単位で一つの団体を構成しています。**2025年4月現在の加盟団体数は31団体、協力団体は36団体**です。

全国協議会も**25年度に設立35周年**を迎えます。



渋谷俊徳 会長代行
(23年11～ 代行)

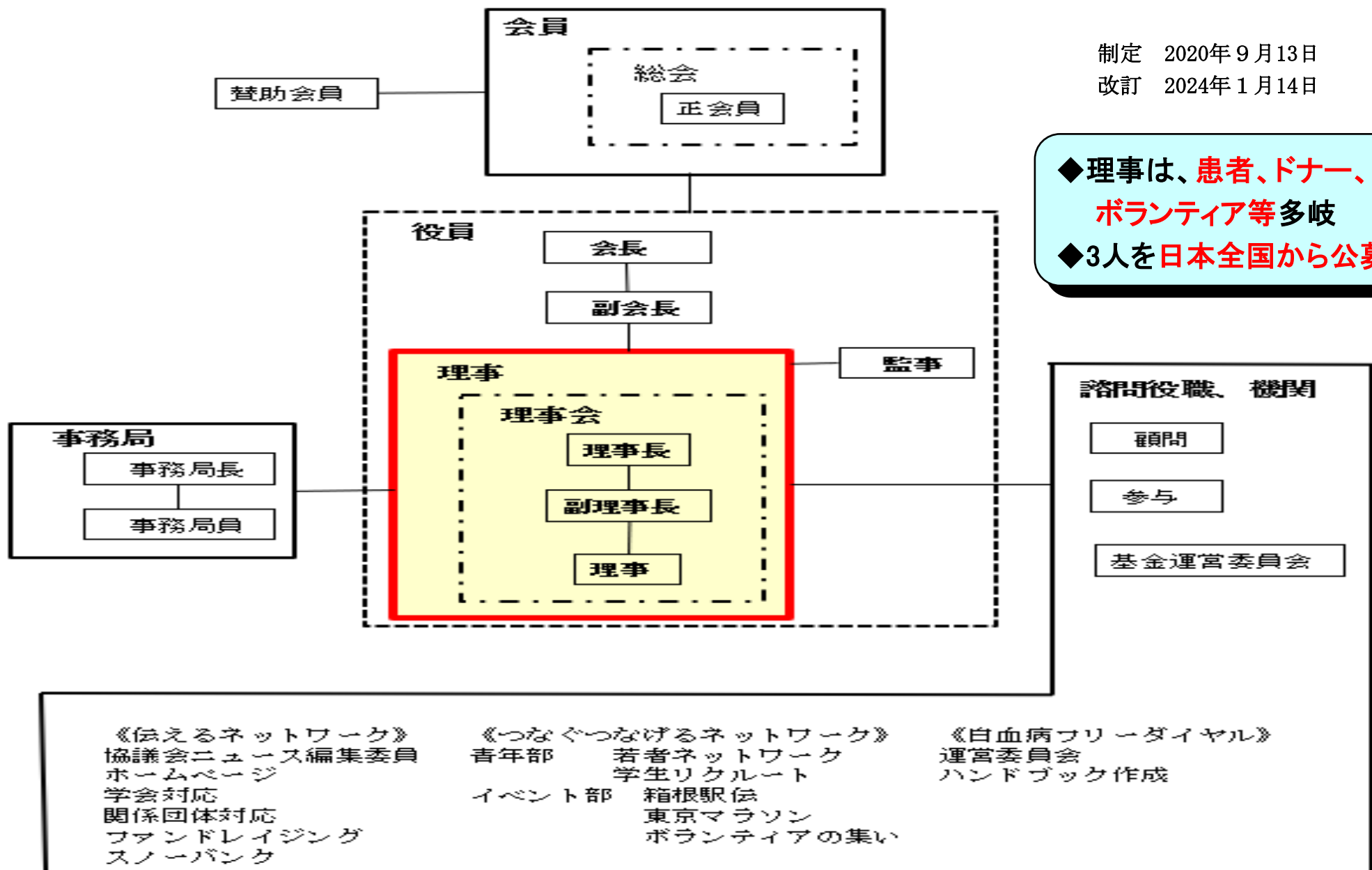


梅田正造 理事長
(23年7月就任)
千葉の会会長

千葉骨髄バンク推進連絡会（千葉の会）は、**全国骨髄バンク推進連絡協議会の会員**です。
千葉の会の会長 梅田正造は、**全国協議会の理事長**を務めています。



全国協議会の組織図





全国協議会の役員、顧問、参与

2023年7月～2025年6月

会長代行：渋谷俊徳

副会長：大谷貴子、田中重勝

理事長：梅田正造

副理事長：村上忠雄、若木換、山村詔一郎、浅野祐子、

理事：齊藤千秋、佐藤民雄、館野守男、鈴木敏生、
山口明大、中村福代、北折健次郎、川下勉、
山崎裕一

監事：黒部光司、笠原慶一

顧問：岩城光英、岡村正、鎌田薫、谷口修一、
東井朝仁、野村正満、陽田秀夫

参与：畠山茂房、菅早苗、野平晋作



全国協議会と骨髓バンクの歩み

- ◆1987年12月 骨髓バンク設立を求める運動を開始
- ◆1989年9月 **民間の東海骨髓バンク設立と骨髓移植実施**
- ◆1990年6月 13団体加盟で全国協議会発足
- ◆1991年12月 **公的骨髓バンク設立** (骨髓移植推進財団、現日本骨髓バンク)
- ◆1993年1月 公的骨髓バンクによる第1例目の骨髓移植実施
- ◆1995年9月 **佐藤さち子患者支援基金を創設**
- ◆1996年7月 白血病フリーダイヤルで患者電話相談を開始
- ◆2010年4月 全国協議会、認定NPO法人資格取得
- ◆2013年1月 **志村大輔基金を創設**
- ◆2013年11月 **こうのとりのマリーナ基金を創設**
- ◆2019年2月 ドナー登録者 50万人達成
- ◆2020年12月 骨髓移植 25,000例達成
- ◆2021年3月 さい帯血移植20,000例達成
- ◆**2023年2月 骨髓移植、さい帯血移植50,000例達成**
- ◆**2025年6月 全国協議会設立35年**



全国協議会の7地区ブロック





全国協議会の活動内容

1. 骨髓ドナー登録推進支援活動と普及啓発活動

2. 患者・家族の支援活動

- ①病気情報ハンドブックの発行・配布
- ②白血病フリーダイヤルの設置・運営
- ③患者支援基金による経済的助成活動
(今回のクラウドファンディングに関係)

3. ドナー支援活動

- ①パンフレットの配布
- ②ドナーサポートダイヤルの設置・運営
- ③ドナー休暇制度、ドナー助成制度の促進活動

4. 骨髓バンク及び医療充実の要望活動



患者支援基金による経済的助成活動①

- ◆当協議会は**血液難病の患者さん**を経済的に支援する**3つの基金**を運営しています。
- ◆**2024年度**は延べ**141人**の方に、**総額9,871千円**の助成を行いました。

佐藤きち子記念造血細胞 移植患者支援基金

♥骨髄移植にどのくらい費用がかかるか不安でしたが基金のおかげで**費用の面で安心**して移植を受ける決心ができました。
(患者さんの夫)

志村大輔基金 (分子標的薬・精子保存支援)

♥思春期の息子に**精子保存**の話をするのはとても勇気のいることでした。でも、しなくてはならないと思い、話し合いました。息子は「将来後悔したくない」この言葉で前に進むことができました。必ず回復すると思っています。前へ前へ気持ちも明るく進んでいきます。
(患者さんの母)

こうのとりのマリー基金 (未受精卵子保存支援)

♥子どもの病気で必要な**卵子採取**に対し保険が適用されないのは残念でしたが、このような助成がある事を聞き、本当に助かりました。多くの方がこの助成の事を知り、困っている方が少しでもお金の面で助かります様に…
(患者さんの母)



患者支援基金による経済的助成活動②

佐藤きち子記念造血細胞 移植患者支援基金



1995年9月～2025年3月
累計助成384件、100,155千円

志村大輔基金 (分子標的薬・精子保存支援)



2013年1月～2025年3月
累計助成943件、46,521千円

こうのとりのマリーナ基金 (未受精卵子保存支援)



2013年11月～2025年3月
累計助成41件、7,140千円



病気情報ハンドブックの発行・配布

◆病初期の患者さんとご家族向けの**ハンドブック「白血病と言われたら」**の改訂第6版を**2020年に発行**しました。上巻と下巻の構成になっています。

ホームページ(<https://www.marrow.or.jp/>)から**ダウンロード**できます。

1999年8月初版発行、2025年3月までの累計発行数56,000セット、総ダウンロード数7,973件



上巻「白血病と闘おう」

これから白血病と闘うために必要な情報を多岐にわたり掲載

A4サイズ 188ページ フルカラー

下巻「血液の病気を知ろう」

血液の病気についてさらに詳細な解説や治療法について掲載

A4サイズ 264ページ フルカラー

ダウンロードの方法は2つあります。
選択してクリックしてください



白血病フリーダイヤルの設置・運営

◆血液疾患患者さんとそのご家族のために、患者電話相談窓口「**白血病フリーダイヤル 0120-81-5929**」を**1996年7月**から開設しています。 2025年3月までの受付相談累計 9,319件

白血病フリーダイヤル

やまい こくふく

0120-81-5929

毎週土曜日
午前10時～午後4時

※毎月第2・第4土曜日は
血液専門医も
ご相談をうかがいます。

♥「白血病フリーダイヤル」のおかげで**今の僕**があります。(患者)

♥ 私が患者だった時、なぜここに行きつかなかったのだろうと今更ながらに思います。誰かに聞くのも恐ろしくて、ネットばかり眠れぬ夜にひとり検索していました…。病院で「こういうのがあるよ」と看護師さんや先生に一言教えてもらえたら良かったな、と思います。**生の声ほど心強い**ものはありません。ひとりでも多くの患者さんに伝わると思います。(患者)



ドナーさんへのサポート

◆ドナーサポートダイヤルの設置・運営

骨髓バンクのドナー(希望者・登録者・候補者・経験者)が抱える様々な疑問について、事務局でお受けしいてます。

0120-892-106

相談の受付日時: 月～金曜日 10:00～17:00 (祝日等を除く)

◆パンフレット配布

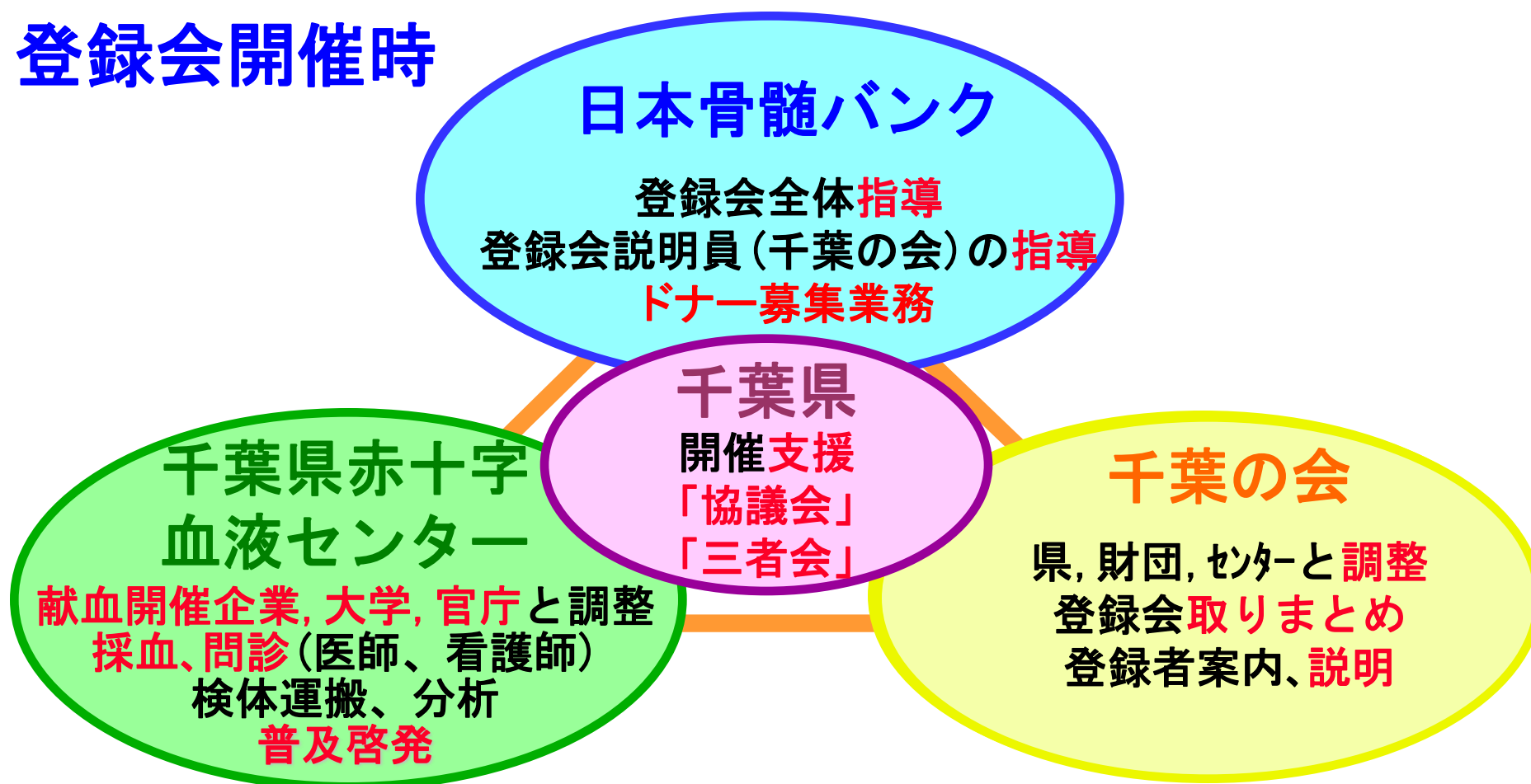
「ドナーになるってどんなこと？」
(本人 編)(家族&職場 編)
を作成しました。





日本骨髓バンク、血液センター、県、千葉の会の関係

登録会開催時



「協議会」：千葉県造血幹細胞移植推進協議会 1回／年

「三者会」：千葉県（薬務課）、千葉県赤十字血液センター、千葉骨髓バンク推進連絡会（千葉の会）の実務打合せ会議 1～2回／年



24年度の活動実績総括

2024年度千葉の会は、第一生命保険（株）が1950年に創設した権威ある「**保健文化賞**」（第76回）を受賞しました。この賞はわが国の**保健衛生向上**のために役に立ちたいとの思いから、同社が保健衛生の分野で立派な業績と長年にわたり労苦をされた団体・個人に「**感謝**」と「**敬意**」を捧げるために創設したものです。
千葉の会の受賞は、1991年2月の結成以来30数年に亘る**骨髓バンクへの支援活動を高く評価**いただいたもので、会員一同大変光栄に思い喜んでいます。

◆24年度の千葉の会の主要行事

- ①**骨髓バンクチャリティ「コンサートと落語会」**開催(24.11.16)
- ②全国協議会の「**東京マラソン2024**」の支援(24.3.3)
- ③「**東京マラソン2024**」(24.3.3)のチャリティランナー支援活動
- ④幕張メッセでの「**フリーマーケット**」(24.5.3～5)、「**東京オートサロン**」(25.1.11、12)での普及啓発と献血併行登録会
- ⑤「**いのちの輝き展**」を県内12カ所で開催計画し、全て終了。
- ⑥**三者会**(24.7.10)

- ◆千葉県主催の「**ドナー登録説明員養成講座**」の3回目が、12月13日に**教育会館**で開催され、10名が受講。この内4名が**説明員資格手続き**を行い、今後の活動参加が期待される。
- ◆**ドナー助成制度**は、23年度に54市町村すべてが**導入**済となった。**ドナー休暇制度**導入活動は、**首長、県市町議会議員**に本年度も支援を要請した。
- ◆11月9日(土)、10日(日)、代々木公園での**東京雪祭**会場で登録会を関東4団体と共催。**登録者100名、献血者463名**だった。
- ◆**ケア帽子**は、日赤奉仕団の方々の支援を受け順調に作成し、**24年度は12病院に550個寄贈**。
- ◆**献血併行型登録会**は、19年度**369回**が、20年度はコロナで**161回**と激減。21年度**224回**。22年度は**336回**。23年度**397回**。**24年度394回で戻った**。(23、24年度 東京雪祭の2回含む)



骨髄バンク／日本の現状

◆日本では毎年新たに**約 1 万人**の方が、**白血病**などの**血液疾患**を発症しています。

◆そのうち**日本骨髄バンク**を介する**移植**を必要とする患者さんは、毎年**約 2, 0 0 0 人以上**です。

◆日本のドナー（骨髄提供者）の登録者は
25年3月末で **562, 452名**（千葉県22, 068名）

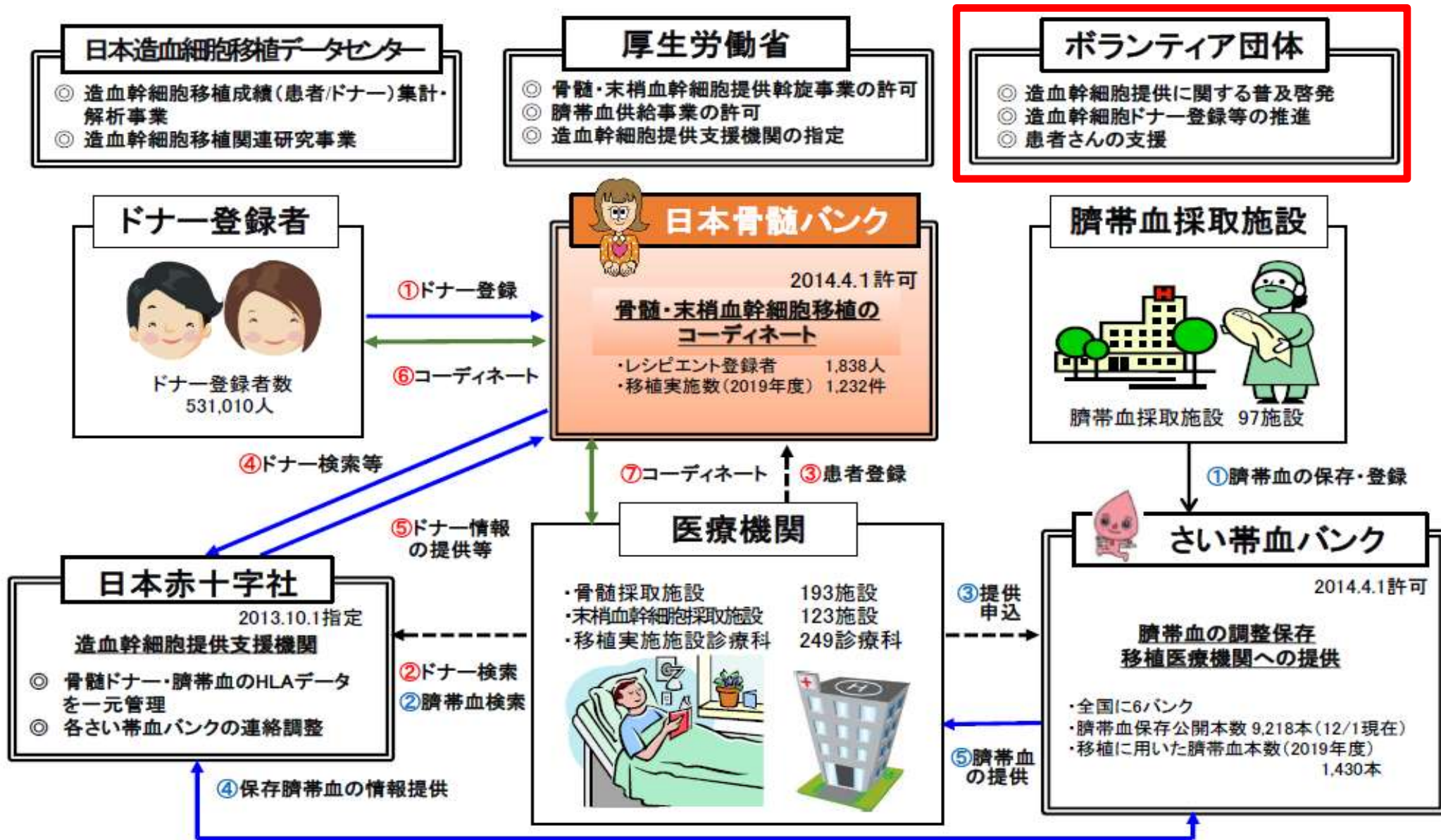
◆骨髄バンクに登録している患者さん（国内）の**約 6 0 %弱**しか移植を受けられていません。
全ての患者さんが移植を受けられるように、
一人でも多くの方の**ドナー登録が必要**です。



造血幹細胞移植の実施体制

日本骨髄バンクと全国骨髄バンク推進連絡協議会

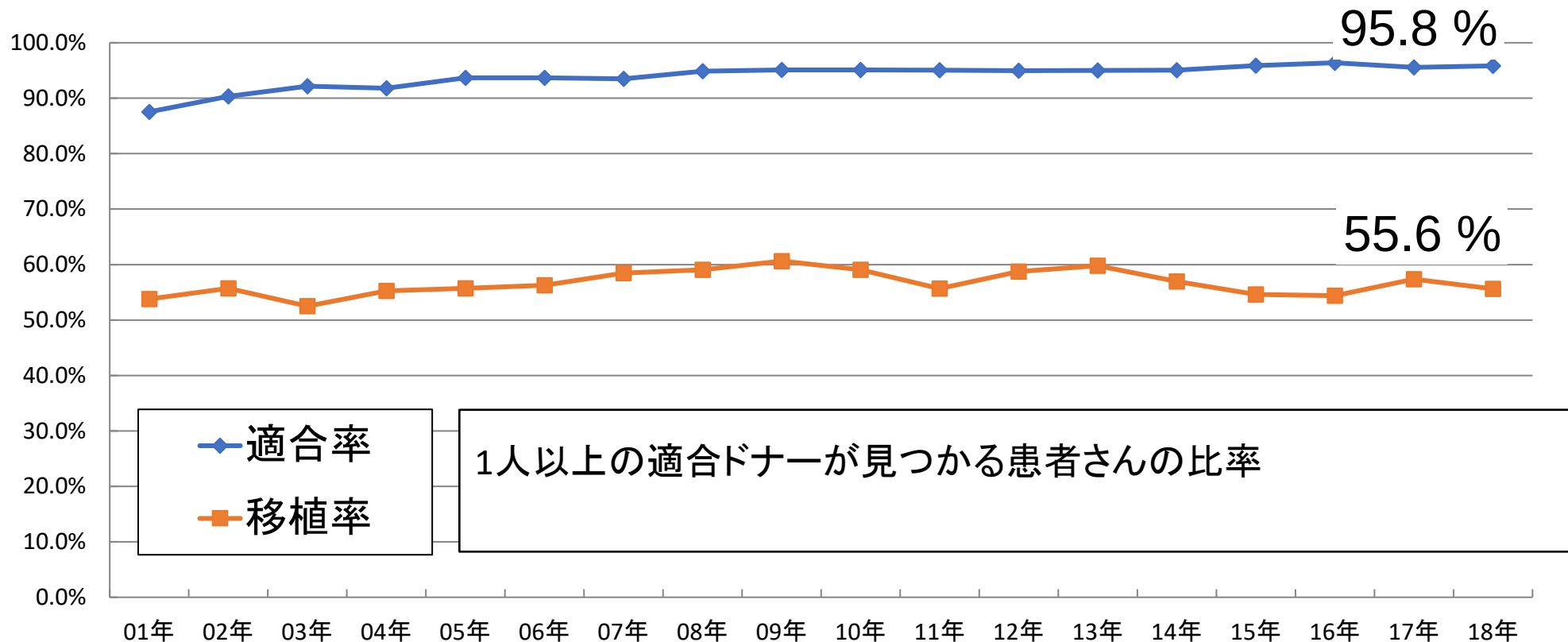
21年2月2日 (日本骨髄バンク) 地区普及広報委員・説明員研修会資料





国内患者のHLA（白血球の型）適合率と移植率

日本赤十字社、日本骨髄バンク調べ



※移植率は、年間の新規患者登録数に対する移植数（国内ドナー＋海外ドナー）の割合

◆日本骨髄バンクを介して移植を希望した患者さんの約60%弱しか移植を受けられていません。



バンク移植が必要な患者さんの約6割しか、移植に至っていない

移植を待つ患者さん**1,822**人に対して、
行われた移植は**1,086**人※2
約2人に1人しか移植を受けられていないのか...

2025.2 日本骨髄バンクから入手



新規患者登録数
1,822人※1



骨髄提供
769件



末梢血幹細胞提供
317件

国内患者移植率※ 推移



※患者登録数に対する移植数（国内ドナー+海外ドナー）の割合

一人でも多くの患者さんが、最適な時期に移植を受けられるように

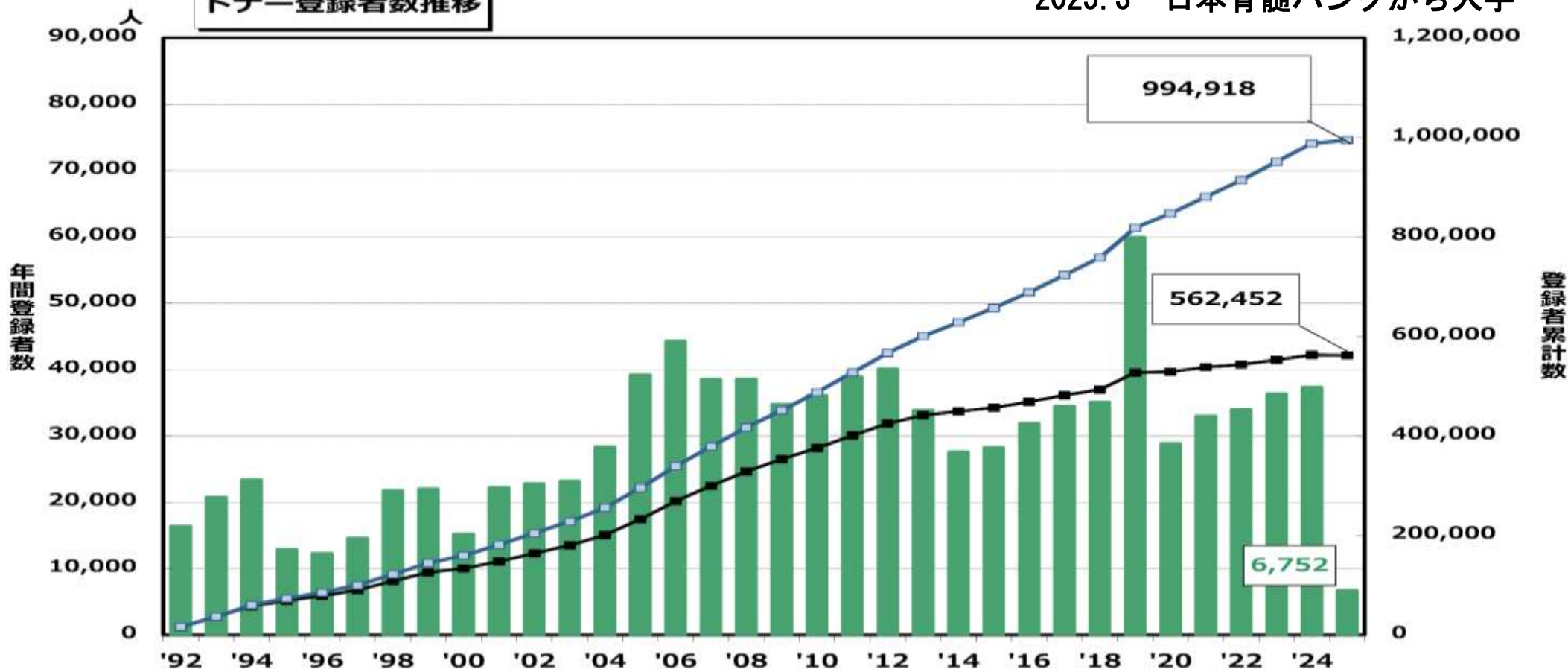
◆日本骨髄バンクを介して移植を希望した患者さんの**約60%弱**しか移植を受けられていません。



全国のドナー登録者数実績

ドナー登録者数推移

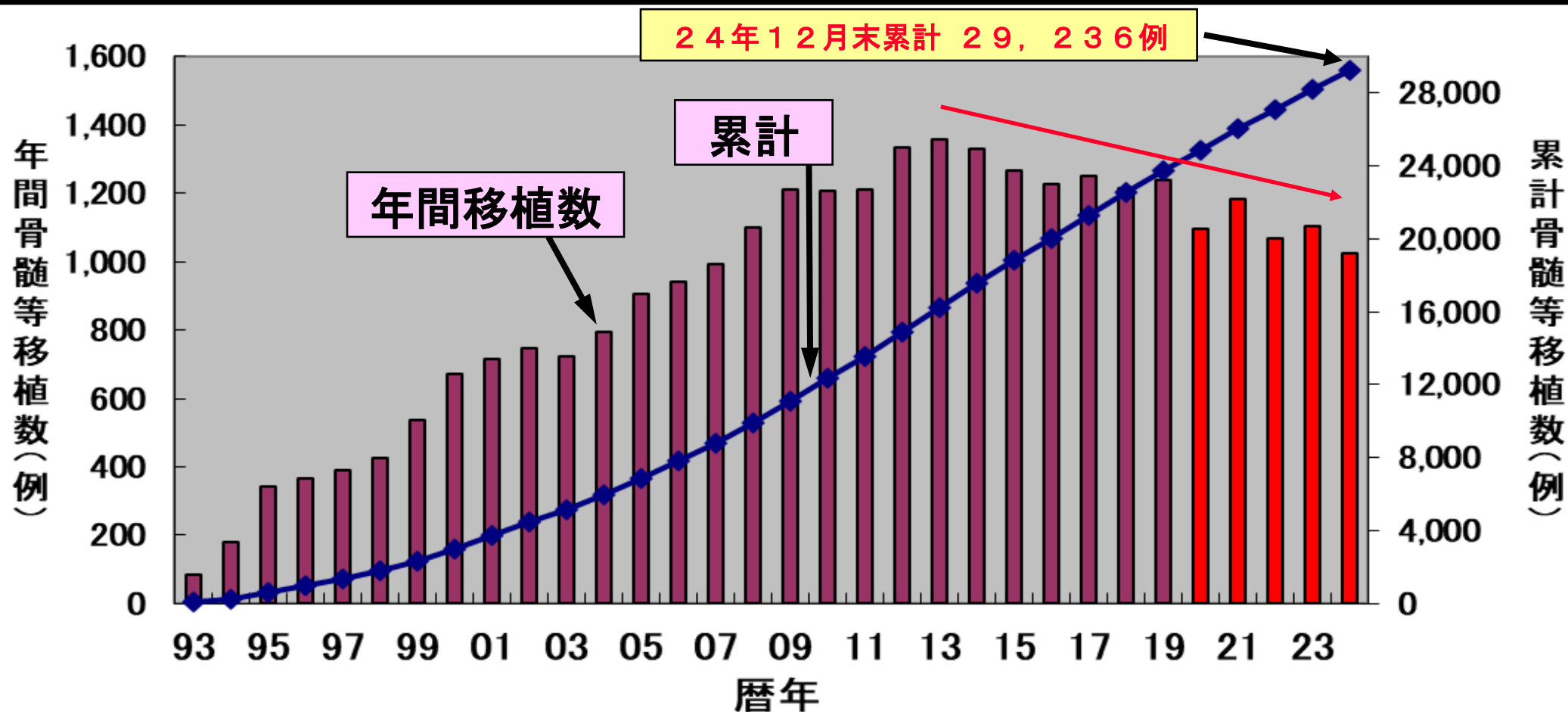
2025. 3 日本骨髄バンクから入手



- ◆06年以降、広告機構広報が無くなった影響等で15年まで減った。
- ◆19年は池江璃花子さん効果で激増。20年はコロナ禍で減。
- ◆25年3月末、累計562,452人。



全国の骨髄・末梢血幹細胞移植実績

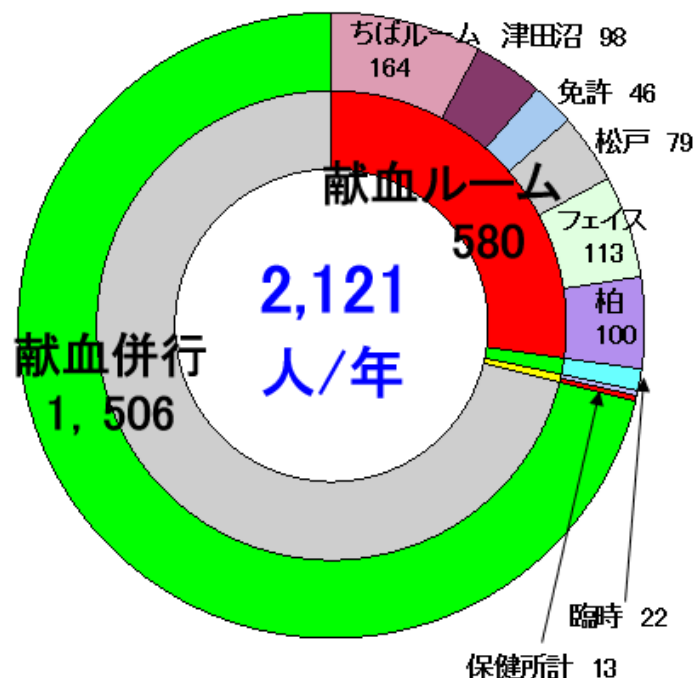


◆年間移植数(採取実施数)(暦年)は、13年に**過去最高(1,356例)**を更新。その後、**さい帯血移植**の増加等の影響もあり**減少傾向**。24年12月末、**累計29,236例**。

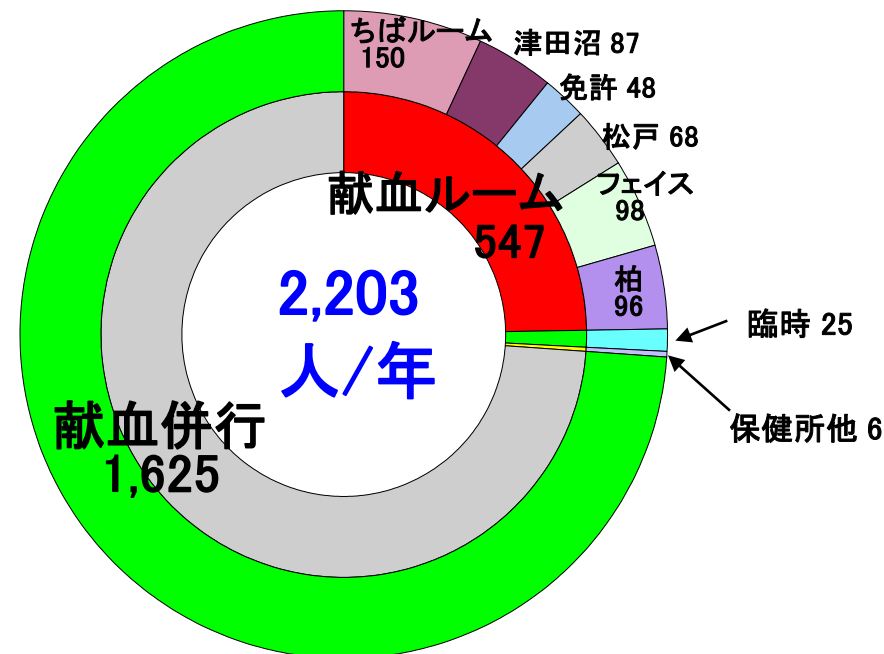


23年度、24年度の千葉県のドナー登録実績

23年度



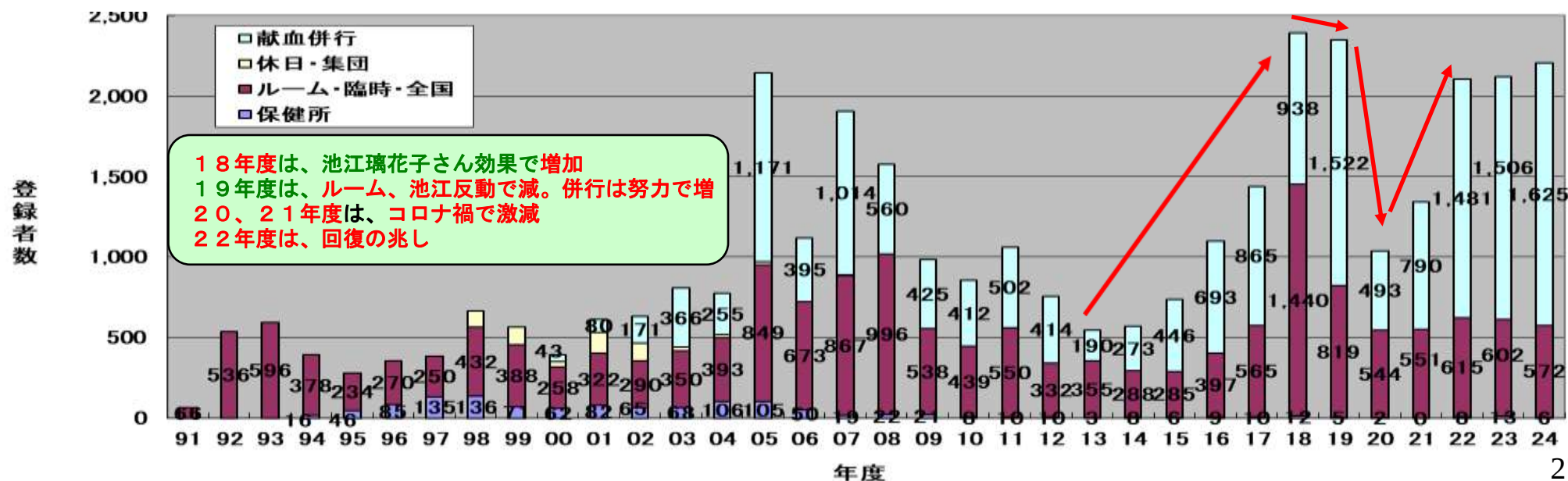
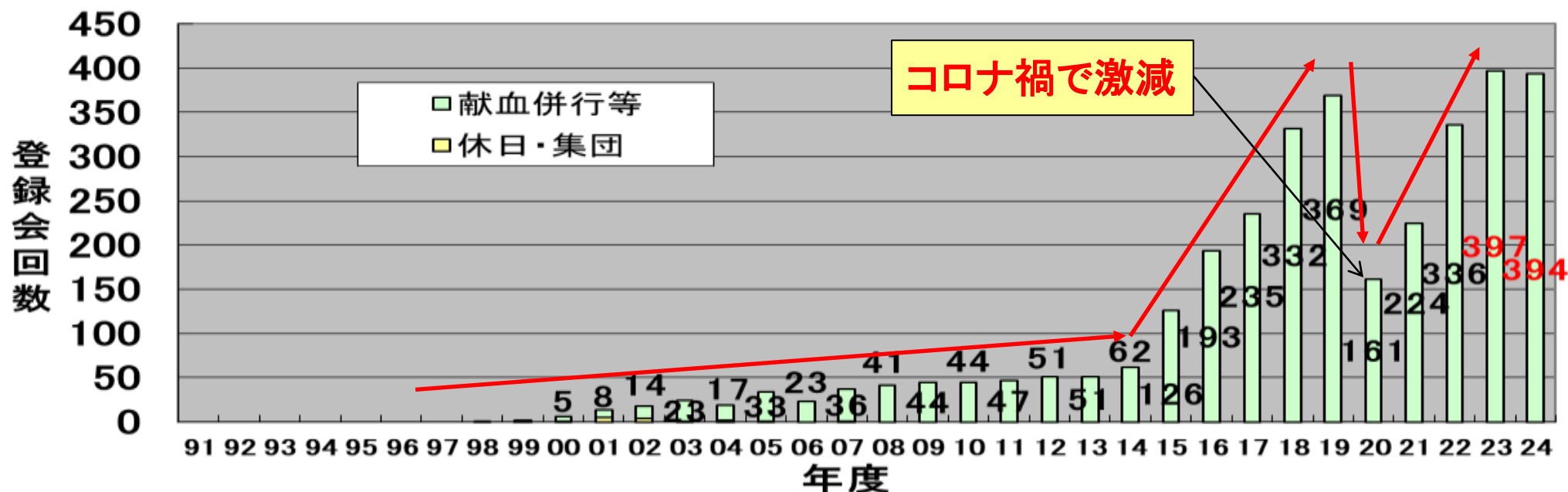
24年度



	献血ルーム	献血併行	他	計	コメント
19年度	781人	1,522人(369回)	42人	2,345人	献血併行頑張り コロナで激減 戻らず 戻りつつある 19年度を超えた
20年度	518人	492人(161回)	28人	1,039人	
21年度	527人	790人(224回)	24人	1,341人	
22年度	569人	1,481人(336回)	56人	2,104人	
23年度	580人	1,506人(397回)	35人	2,121人	
24年度	547人	1,625人(394回)	25人	2,203人	



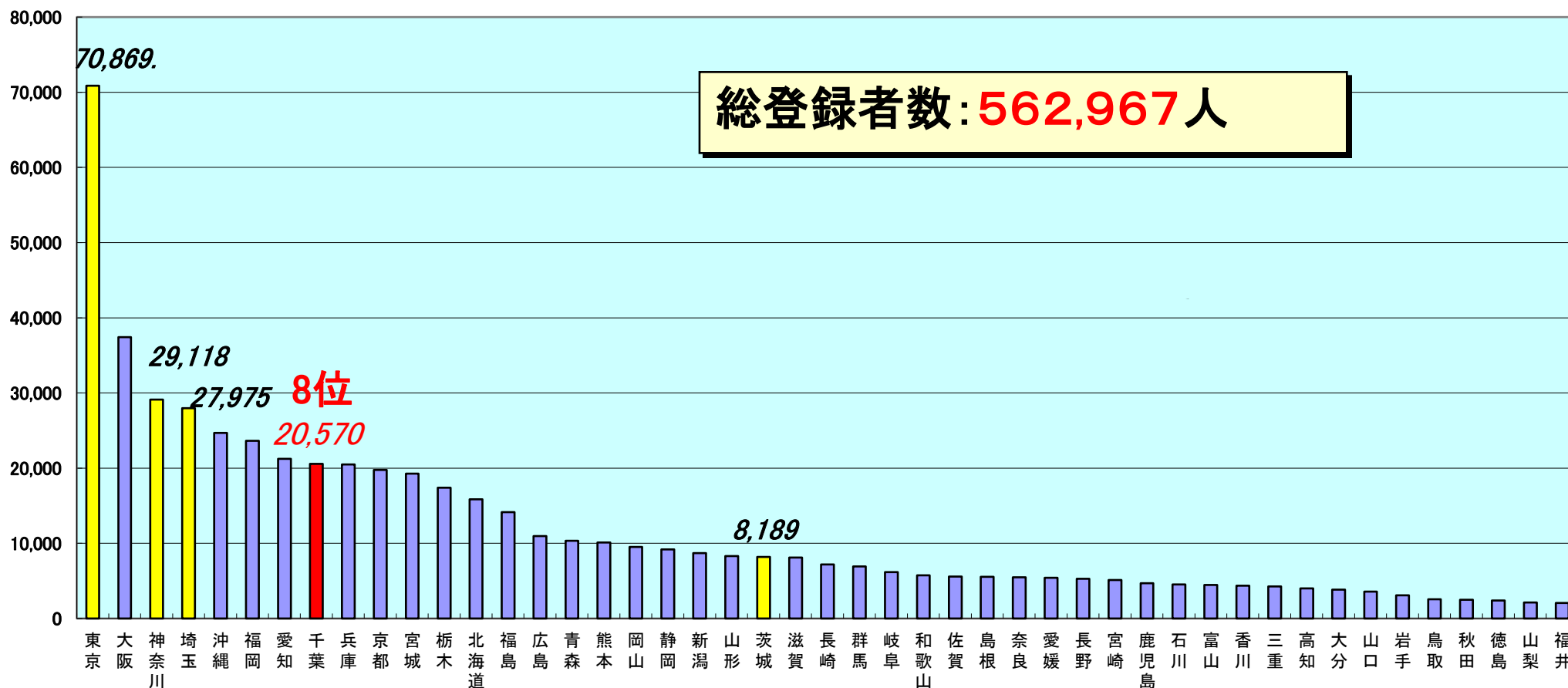
千葉県の年度別登録者数と登録会回数





都道府県別 ドナー登録者数

2024年12月末現在

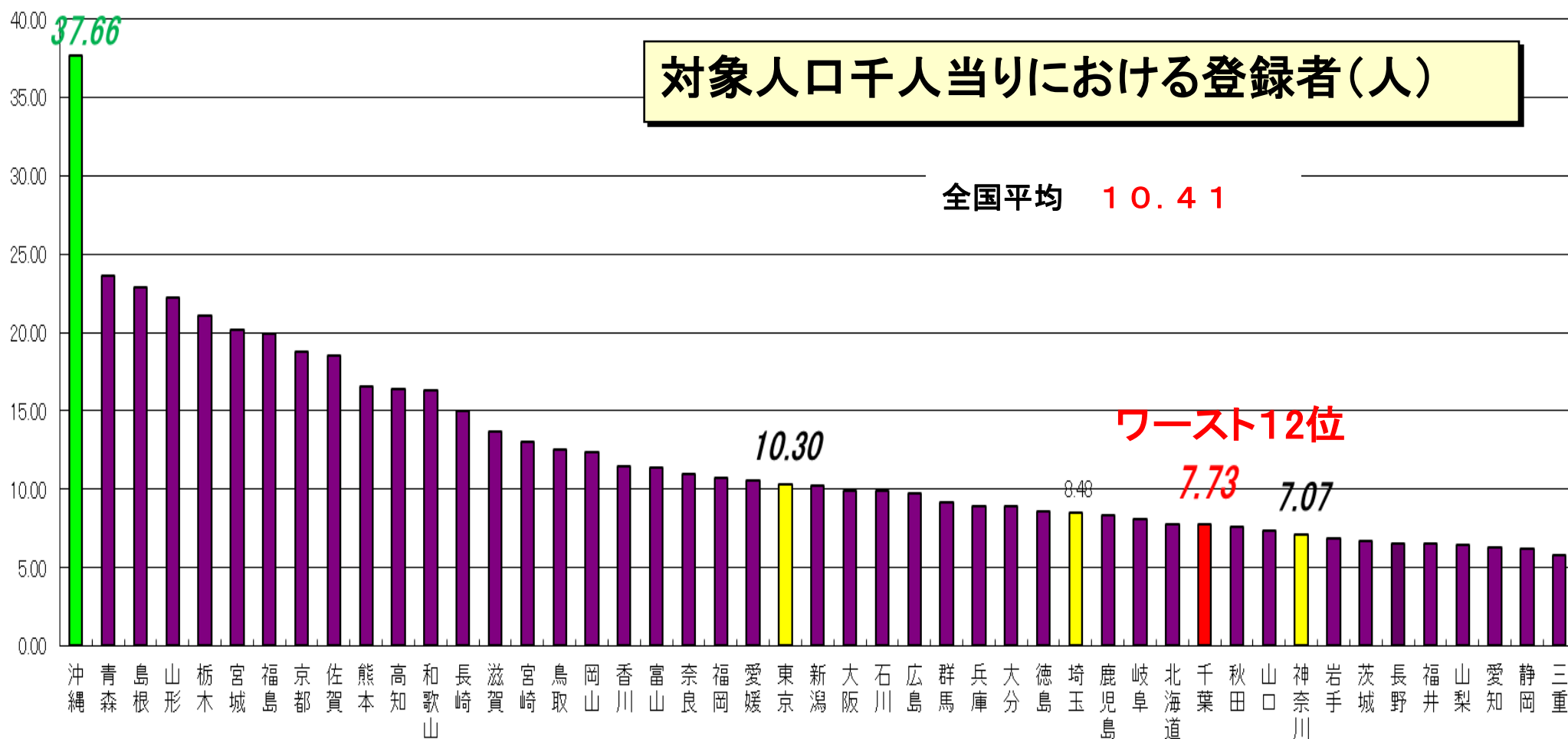


- ◆千葉は19年13位、20年・21年12位、22年9位。23年・24年8位。
- ◆東京1位変わらず。神奈川3位、埼玉4位、茨城23位。



都道府県別 ドナー登録者割合比較

2024年12月末現在

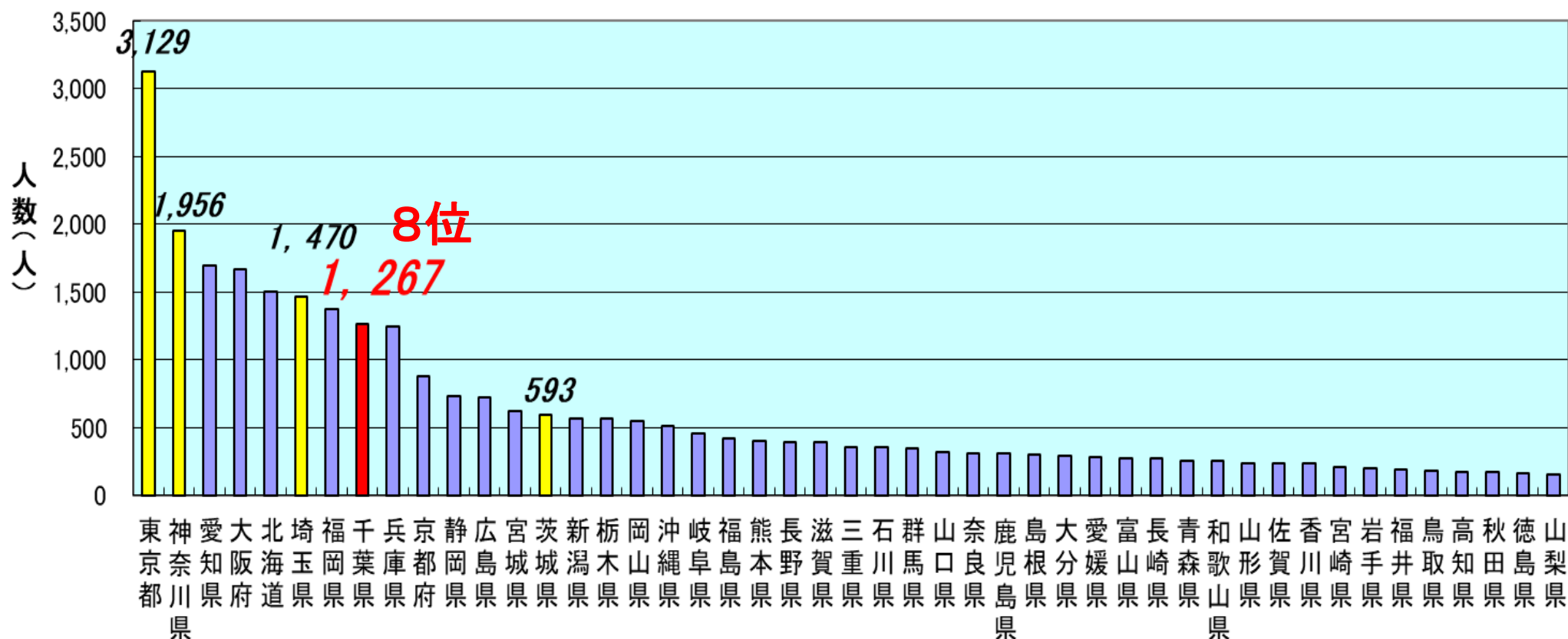


- ◆千葉県は、19～20年ワースト7位。22年は同12位、23年は同11位、24年は再び同12位。
- ◆沖縄は、他を凌駕する1位(37.66)継続。



都道府県別 骨髄液提供者数

2024年12月末現在



◆千葉県の骨髄液提供者数は、13～22年は、9位。
23、24年は8位。(10年7位、11、12年8位)



2024年度(令和6年) 第34回総会

(24. 5. 12 船橋勤労市民センターで開催)

会場の船橋市勤労市民センター



梅田会長挨拶



23年度業務報告



小泉議長の議事進行



活発な質問と意見交換



活発な質問と意見交換





骨髓バンクチャリティ コンサートと落語会

(24. 11. 16 成田市文化芸術センターで開催)

精進料理(光輪閣)

隅田川わたしさん、桂右女助師匠の落語

ドナー、移植患者さんによる体験談



三戸 素子さん、小澤 洋介さん、
高田 匡隆さんの演奏

終了後の記念撮影

成田山公園の紅葉



- ◆**精進料理40名、入場者143名、協賛店33社と盛況だった。**
- ◆**20、21年度はコロナ禍で中止。23年度から復活。**



アクアラインマラソンで説明会、普及啓発 (24.11.10)

薬務課テント前で記念撮影



スタート応援、約17,000人の走者



風船で普及啓発



木更津市民体育館のイベント会場



ゴール直前のコーナー



表彰式





2024年度 千葉の会開催「いのちの輝展」

24.5.1～5.14 富里市立図書館



24.6.20～7.5 鎌ヶ谷市役所



24.9.10～9.24 市川市役所第一庁舎



24.10.7～10.21 千葉県庁



24.12.10～12.24 市原市役所



開催日	展示会場
24.5.1～5.14	富里市立図書館
24.6.1～6.15	柏市パレット柏
24.6.20～7.5	鎌ヶ谷市役所
24.7.22～8.6	茂原市立図書館
24.8.18～9.8	長柄町公民館
24.9.10～9.24	市川市役所第一庁舎
24.10.1～10.15	イオンモール船橋
24.10.7～10.21	千葉県庁
24.10.22～11.5	八街市立図書館
24.12.10～12.24	市原市役所
25.1.7～1.28	八千代市役所
25.3.4～3.25	多古町コミュニティ プラザ展示ホール

◆24年度は12箇所で開催。 23年度は10箇所で開催。



ケア帽子の寄贈

手作りのケア帽子



君津中央病院に贈呈(22.12.14)



ケア帽子と一緒に寄贈した手作りグッズ



- ◆19年度は、9病院に500個寄贈
- ◆20年度は、8病院に510個寄贈
- ◆21年度は、10病院に580個寄贈
- ◆22年度は、12病院に646個寄贈
- ◆23年度は、12病院に620個寄贈
- ◆24年度は、12病院に550個寄贈



患者サロン 飾り寿司講習会 (16. 6. 26 全国協議会 事務所)

講師： 千葉骨髓バンク推進連絡会の西島一恵さん



出来上がった飾り寿司



第一生命㈱の「保健文化賞」受賞式 明治記念館（24. 12. 19）



◆**保健文化賞**：第一生命が、**保健衛生の分野で立派な業績と長年にわたり労苦**をされた団体・個人に「感謝」と「敬意」を捧げるために創設したもの。**千葉の会**の受賞は、30数年に亘る**骨髓バンク支援活動**が評価されました。**梅田**（後列左から3番目）



天皇皇后両陛下 保健文化賞受賞者と面会（24. 12. 20）



◆**天皇皇后両陛下**が、厚労大臣から表彰された「**保健文化賞**」の**受賞者と皇居・御所で面会**し、これまでの苦労を労われました。**梅田**（左から2番目）が千葉の会を代表して出席。



ライオンズクラブ国際協会333-C地区研修会での講演 (23. 9. 15)

会場のホテルスプリング幕張



講演(梅田)の様子



参加者
100名

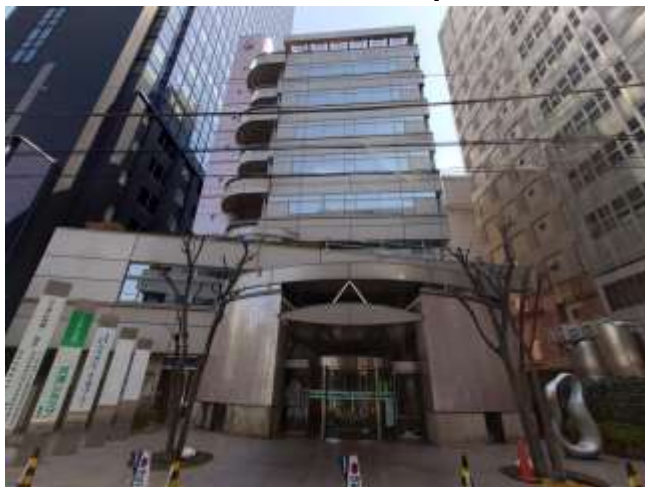


関東・甲信越地区ブロックセミナー(25. 3. 30)

新宿 こくみん共済 coop 東京会館

大谷貴子さんと弁護士さん(講師)

6団体の参加者



長野の会、千葉の会の参加者

東京・埼玉・群馬・神奈川の会の参加者

全国協議会 梅田理事長挨拶



- ◆25年度は25年3月30日(日)、こくみん共済Coop会場(新宿)で開催、活発な意見交換を行った。
- ◆千葉(5)、東京(11、**主管**)、神奈川(3)、埼玉(5)、群馬(1)、長野(1)、講師・司会(3)の計**29名**が参加。



日本造血・免疫細胞療法学会に参加（大阪国際会議場）

会場の大阪国際会議場



会場の様子



山崎理事のポスターを見る方々



全国協議会の展示ブースで



全国協議会と日本赤十字社の展示ブース



浅野副理事長の発表



◆25年2月27日～3月1日、日本造血・免疫細胞療法学会
（大阪国際会議場）でのブースとポスター、会場発表の様子。



東京マラソン2025でチャリティランナーの応援、接待

EXPO会場(東京ビッグサイト)



力走するランナー



沿道での応援



ランナー接待会場(東京国際フォーラム)の様子



◆25年2月27日(木)～3月1日(土)の東京マラソンEXPO(東京ビッグサイト)、2日(日)大会当日応援と東京国際フォーラムでのランナーの接待。



献血併行登録会（登録手続きの流れ）

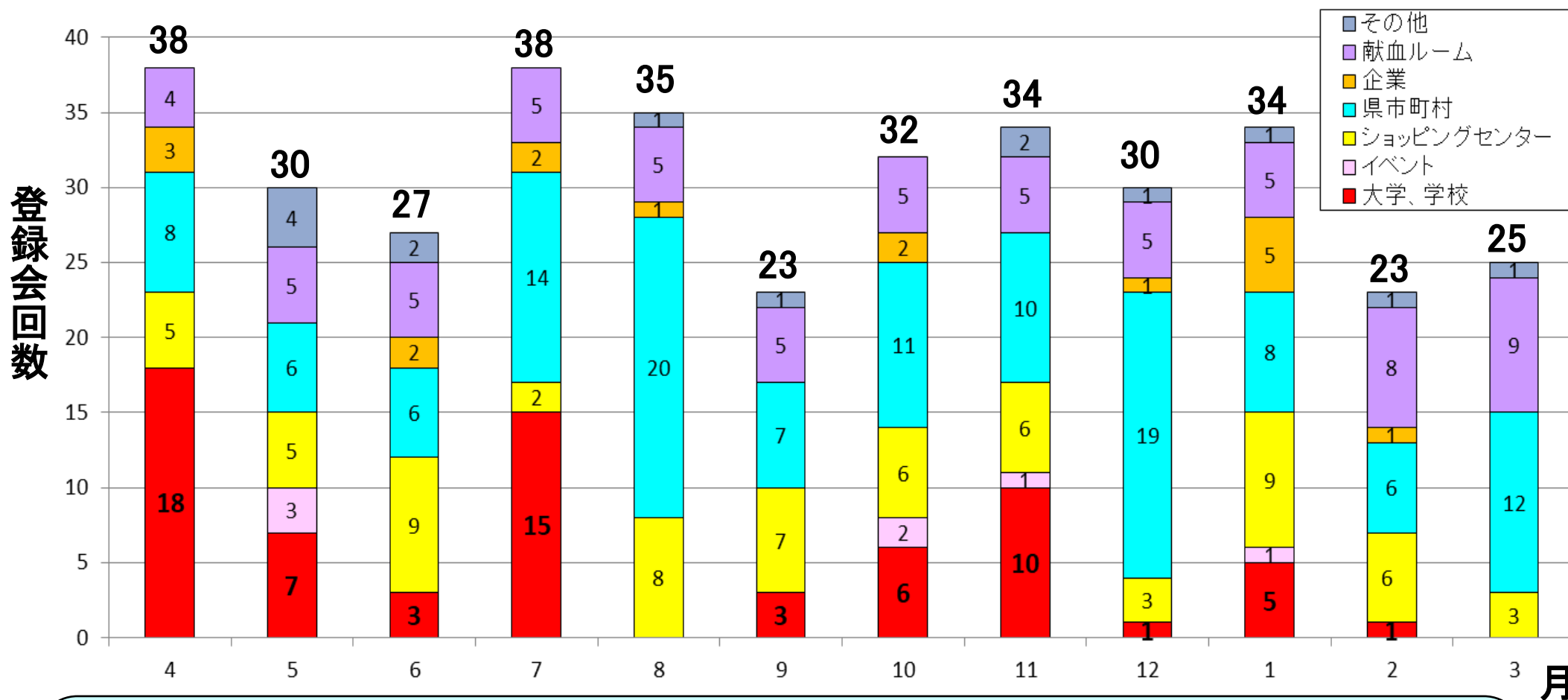
全工程で**15分程度**かかります

- ◆**受付**: 献血受付で献血手続き書類を記入後、登録受付をします。
- ◆**説明**: 説明員（**弊社ボランティア**）が、「登録手続き」記入要領を説明し、記入頂きます。
- ◆**問診、採血**: 千葉県赤十字血液センターの医師が問診をし、看護師が採血します。（献血用とは別に2ml採血して登録は終わりです）
- ◆**献血**: 血液センターの献血会場、献血車で献血下さい。
- ◆**ドナーカード**: 説明終了時にお渡しします。
（万が一問診で不適と判定された場合は返却下さい）





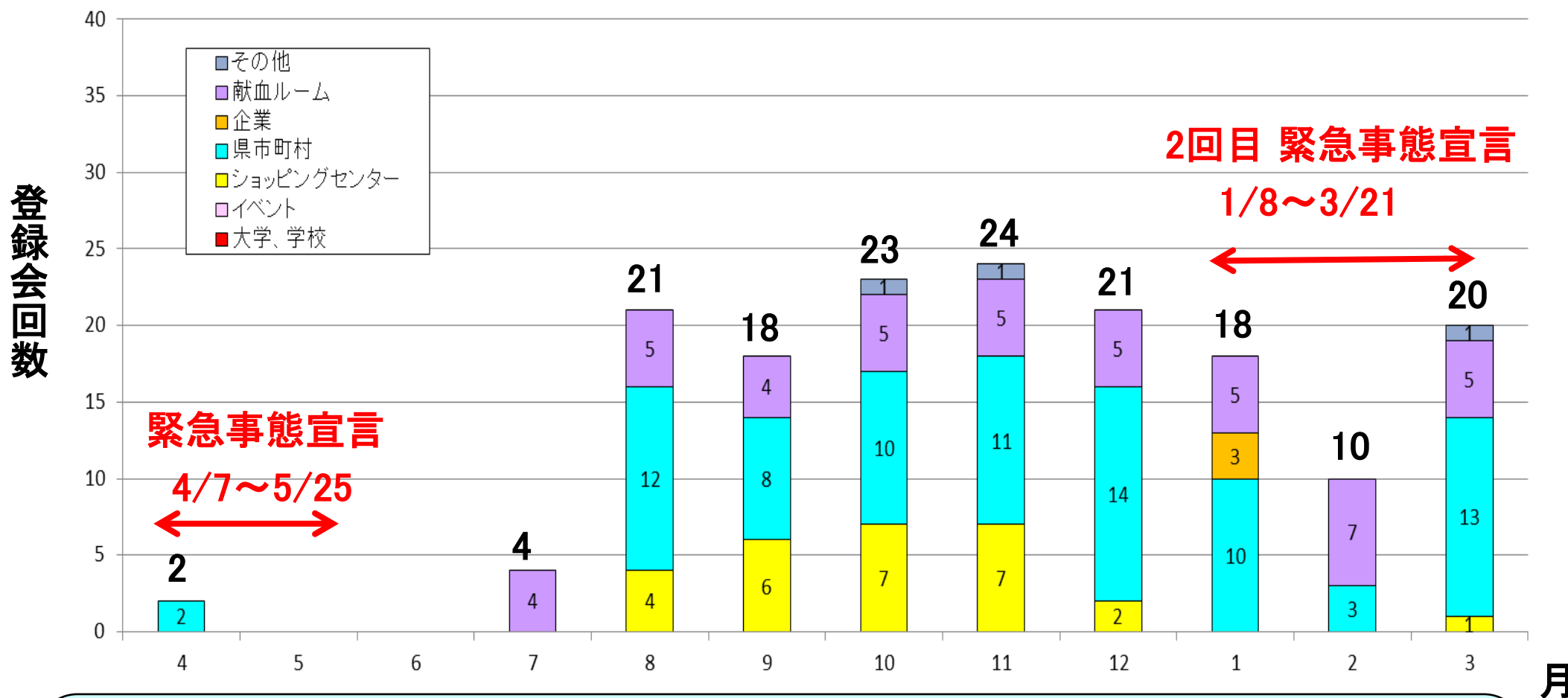
19年度の千葉の種類別献血併行登録会実績



- ◆19年度の登録会回数は、過去最高の**369回**になった。
- ◆**大学での開催**に力を入れている。**69回**開催した。
- ◆**県市町村127回**、**献血ルーム66回**、**ショッピングセンター69回**。
- ◆**2, 3月はコロナの影響**で登録会がかなり**キャンセル**された。



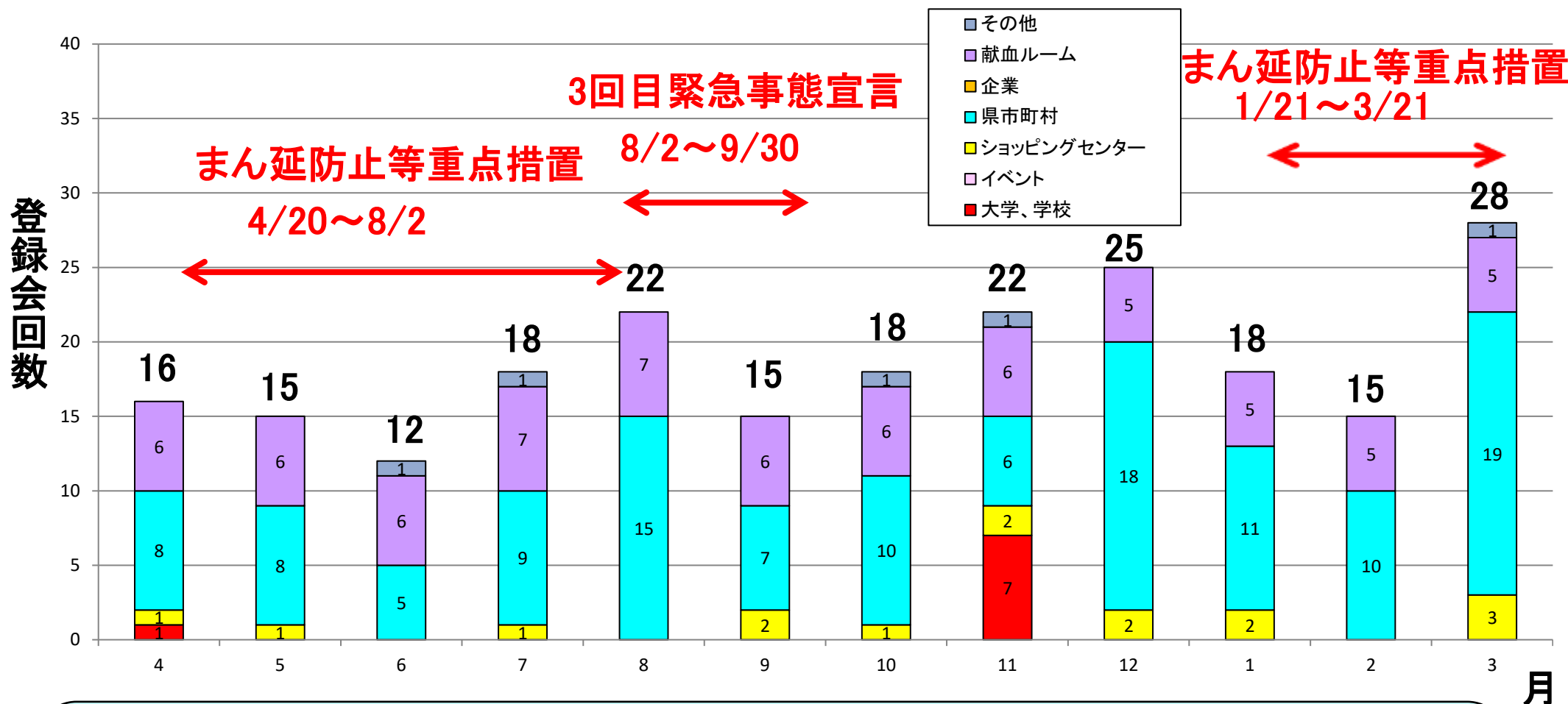
20年度の千葉の種類別献血併行登録会実績



- ◆20年度の登録会は、2回のコロナの「緊急事態宣言」発令の中、3密対策の徹底を図り161回実施。
- ◆大学、イベントでの開催は、ゼロになった。
- ◆県市町村83回、献血ルーム45回、ショッピングセンター27回。



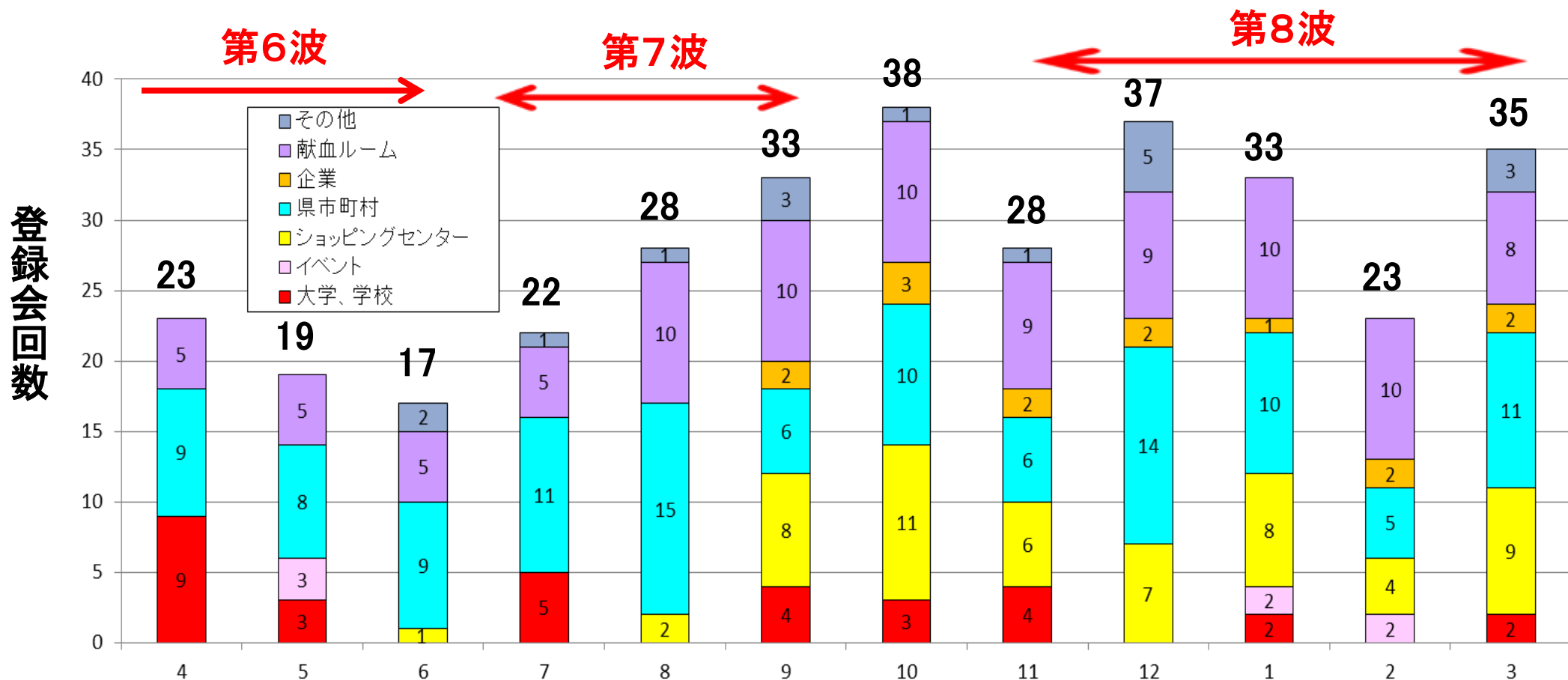
21年度の千葉の種類別献血併行登録会実績



- ◆21年度の登録会は、8月2日～9月30日まで「緊急事態宣言」があったが、感染防止対策で224回実施。
- ◆イベント、企業での開催ゼロ。大学8回復活の兆しなし。
- ◆県市町村126回、献血ルーム70回、ショッピングセンター15回、他5回。



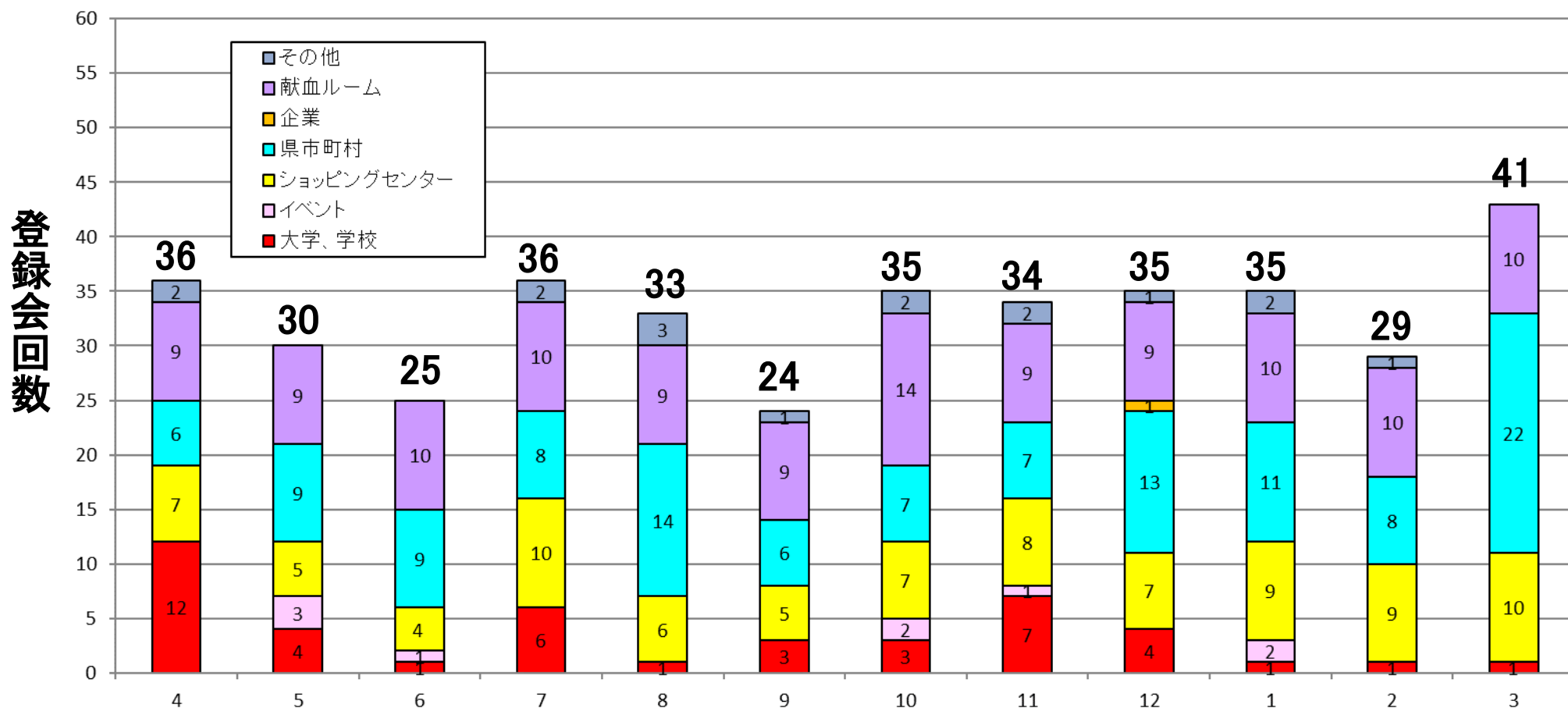
22年度の千葉の種類別献血併行登録会実績



- ◆22年度の登録会は、**336回**実施。コロナ前までもう一步。
- ◆コロナは第6、7、8波があったが**大学、ショッピングセンター、企業の開催**もどる。県市町村114回、献血ルーム96回、ショッピングセンター56回、大学32回、他17回、企業14回。



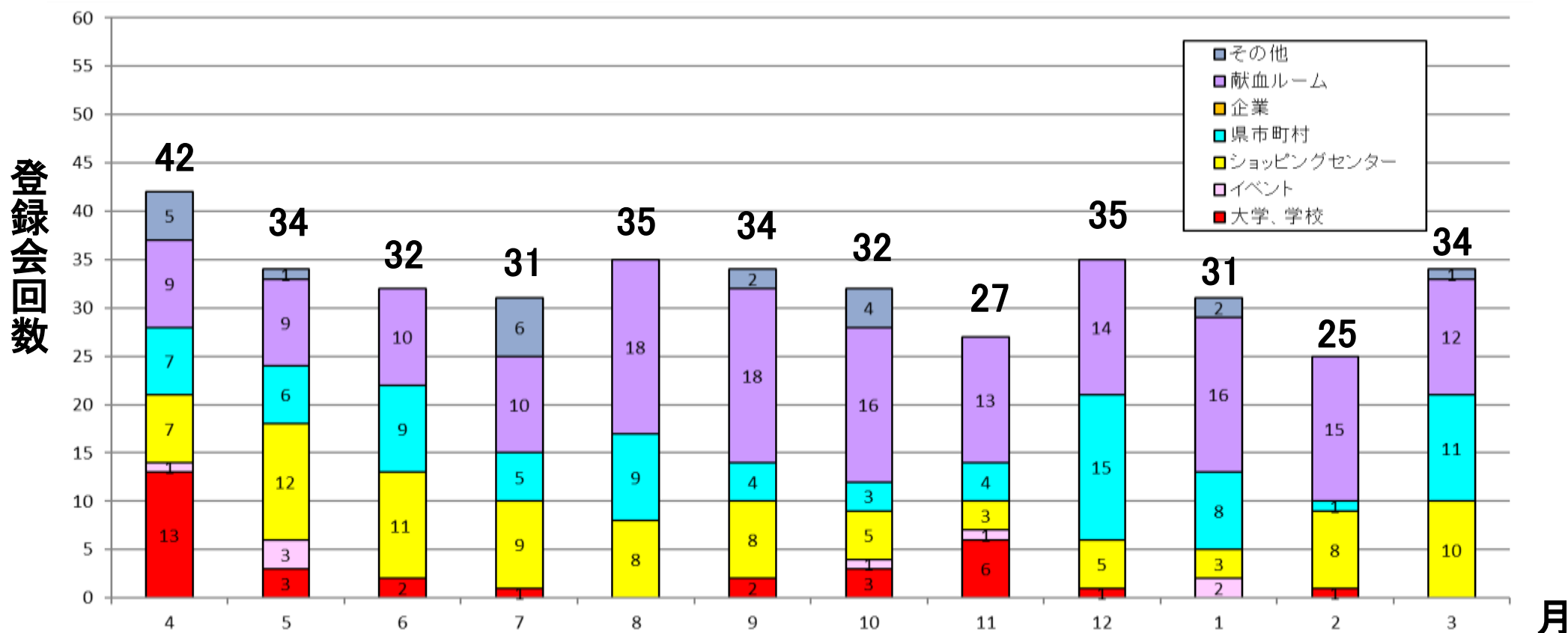
23年度の千葉の種類別献血併行登録会実績



- ◆23年度の登録会は、397回実施。(東京雪祭2含む)
- ◆大学、ショッピングセンターの開催もどる。
- 県市町村120回、献血ルーム118回、ショッピングセンター87回、大学44回、他28回。



24年度の千葉の種類別献血併行登録会実績



◆24年度の登録会は、**394回**実施。献血ルームを多く行った。
(東京雪祭の2回含む)

◆献血ルーム**160回**、ショッピングセンター**89回**、県市町村**82回**、
大学**32回**、他**31回**。



説明員募集

千葉骨髓バンク推進連絡会

千葉県主催の「ドナー登録説明員養成講座」(24. 12. 13ちばけん教育会館)

会場の千葉県教育会館



薬務課長谷川副課長長のご挨拶



日本骨髓バンク 上原さんの講義



梅田の講義



ロールプレイング



質疑応答



◆ 3 回目の養成講座に10名が受講し、4名が資格申込。



千葉の会主催のドナー説明員研修会の様子

船橋市民活動サポートセンター
講師：梅田、北村美、佐々木(25.2.23)



船橋市民活動サポートセンター
講師：梅田、北村美、柴谷(23.5.14)



木更津市役所
(イオンタウン朝日)
講師：西島夫妻(23.9.19)



- ◆24年度は、千葉の会研修会を1回開催。2名が受講。
- ◆23年度は、2回開催。3名が受講。



イベントと登録会

〈イベント会場で〉

千葉骨髓バンク推進連絡会

SNOWBANK PAY IT FORWARD 2024（東京雪祭）で登録会と普及啓発 (24. 11. 9~10 代々木公園)

登録呼び掛け



登録説明



ゲレンデに多くの観客が



ステージの活動

会場の様子



- ◆登録者 100名、献血者 463名。
- ◆千葉、東京、神奈川、埼玉のボランティア延べ31名が協働。



イベントと登録会

＜イベント会場で＞

千葉骨髓バンク推進連絡会

東京新都心ライオンズクラブ主催の献血会場で献血併行登録会 (22. 4. 10 新宿中央公園 水の広場)

開始前のミーティング



献血受付に多くの方が



ライオンズさんのテント



登録者が次から次へ



高層ビル群と献血会場全景



参加者全員で記念撮影



- ◆登録 **37** 名、献血者 **93** 名。総責任者 **梅田**
- ◆**千葉**、東京、神奈川のボランティア **14** 名が協働。



献血ルームでの献血併行登録会

モノレールちば駅献血ルーム
(24.7.22、11.21)



松戸献血ルーム(24.8.7)



津田沼献血ルーム(24.4.5、25.1.14)



柏献血ルーム(24.8.15、25.5.7)



船橋献血ルームフェイス(24.11.11、7.16、7.16)



◆24年度は、160回開催。

◆23年度は、118回開催。

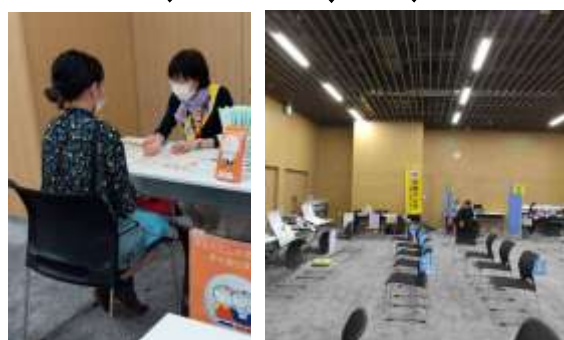


県市町村役場、福祉センターでの献血併行登録会

千葉県庁
(24.4.15、8.14)



千葉市役所
(24.4.15、7.8)



我孫子市役所
(24.7.8)



市原市役所
(24.5.7)



大多喜町役場
(24.4.11)



富津市役所
(24.8.13)



四街道市文化福祉
センター(24.7.12)



三芳農村環境改善
センター(24.6.7)



木更津市保健相談
センター(24.6.24)



◆24年度は、82回開催。
◆23年度は、120回開催。



ショッピングセンターでの献血併行登録会

イオンタウン七光台
(24.5.26)



イオンモール成田
(24.6.15)



イオンモール木更津(24.4.14、8.12) カインズ市原
(24.7.28)



イオンタウン旭
(24.5.26)



ユニモちはら台
(24.7.14)



アリオ市原
(24.12.8)



イオンモール幕張新都心
(24.8.11)



イオンタウンユーカリが丘
(24.9.22)



◆24年度は、89回開催。
◆23年度は、87回開催。不特定多数の来客に期待。



大学、学校での献血併行登録会

国際武道大学
(24.4.8)



秀明大学
(24.5.21)



千葉商科大学
(24.7.15)



中央学院大学
(24.11.14)



川村学園女子大学
(24.12.11)



千葉大学(24.4.10)



国際医療福祉大学(24.10.12)



東京大学柏(24.6.17) 順天堂大学(24.10.23)



◆24年度は、32回開催。
◆23年度は、44回開催。。若い人の登録に努力。



その他会場での献血併行登録会

成田赤十字病院(24.9.4)



幕張メッセロックライブ
(24.4.6)



東京オートサロン
(25.1.12)



君津市生涯学習
交流センター(24.9.14)



千葉大学医学部附属病院(23.11.29)



航空自衛隊木更津
補給処(24.4.5)



陸上自衛隊木更津
駐屯地(24.4.22)



八街中学校
(産業祭会場)
(24.11.17)

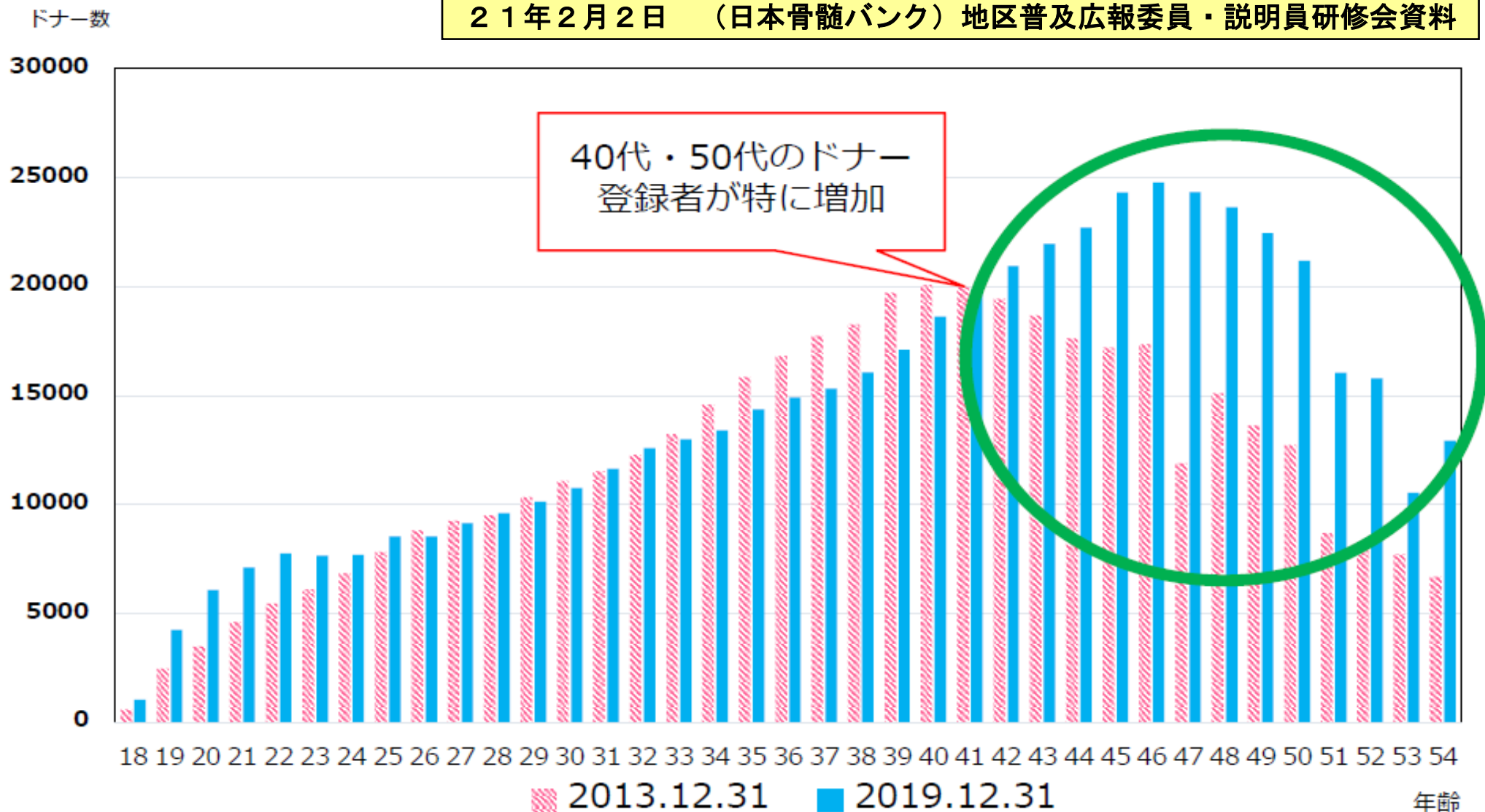


◆24年度は、21回開催。
◆23年度は、28回開催。



ドナー登録者の年齢比較

21年2月2日 (日本骨髄バンク) 地区普及広報委員・説明員研修会資料



若年層への取り組み強化が必要

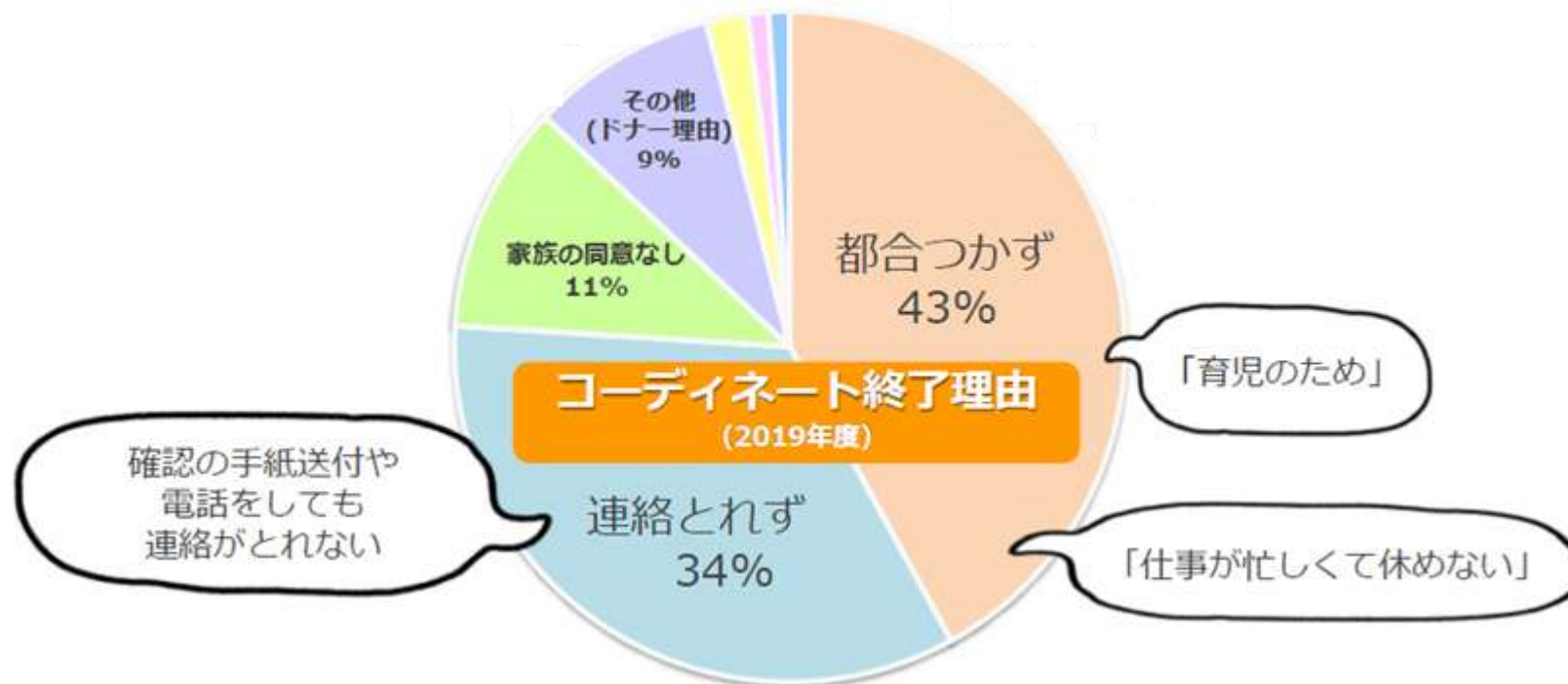


骨髓バンクの今後の課題

課題

骨髓移植を希望した患者さんの **60%弱** しか移植を受けられない。

ドナーの原因





課題への方策

方策(ドナーが原因の対応)

◆都合つかず ⇒ 休めない

ドナー助成制度導入、ドナー休暇制度導入

◆連絡取れず ⇒ ドナーリテンション **提供意思**の維持

「献血者」住所登録データの確認許諾

◆家族の同意なし ⇒ **普及啓発**、広報等の強化

◆その他

*ドナー登録者減(**ドナ一定年増**) ⇒ **登録会増**

***健康理由** ⇒ **若年層ドナー増**

大学での登録会増



ドナー登録取り消し者数の推移

22年2月22日 (日本骨髓バンク) 地区普及広報委員・説明員研修会資料

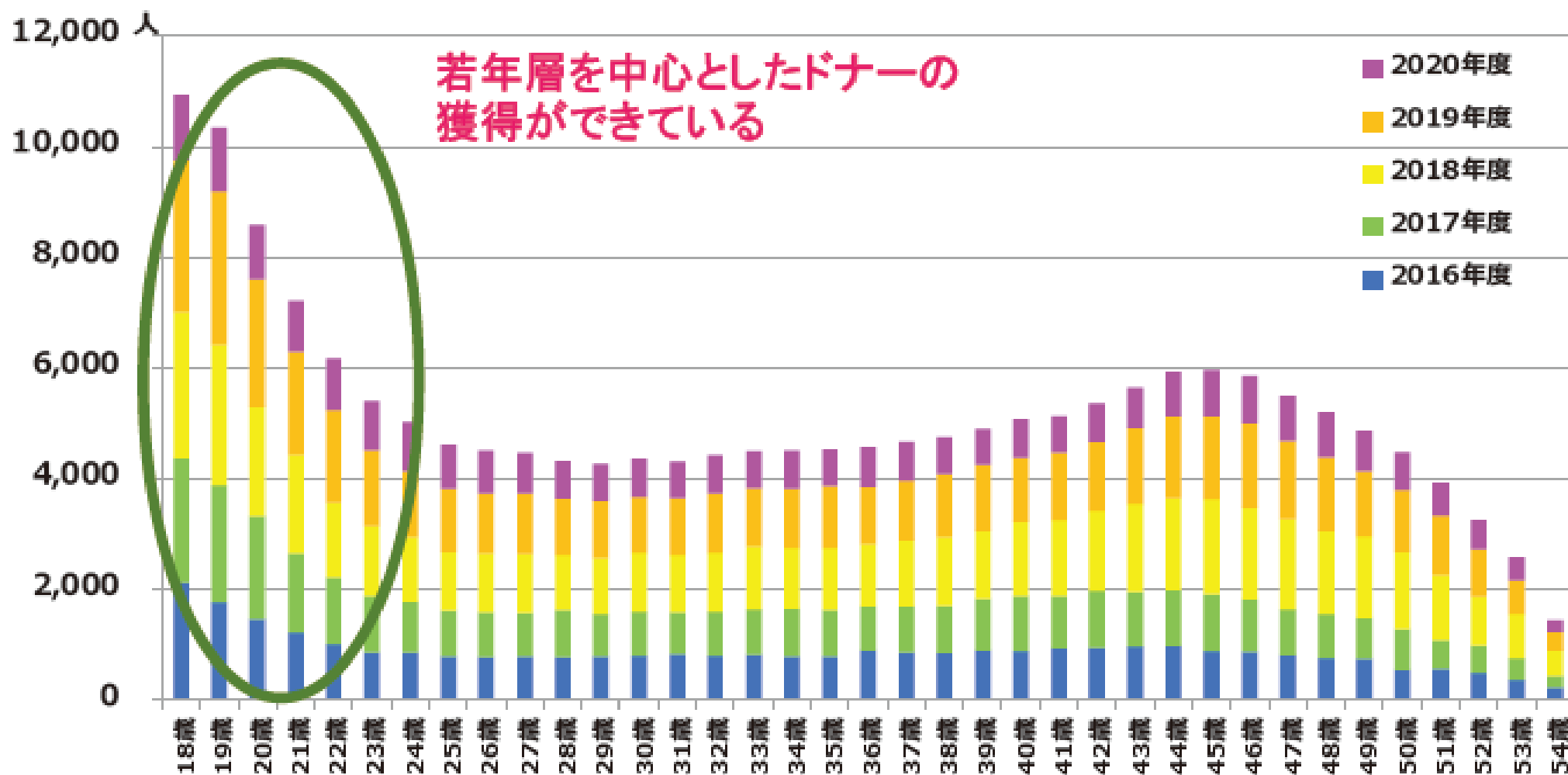
近年は、毎年2万人以上が取消。2020年度は、純増979人





年齢別新規ドナー登録者数(全国計)

22年2月22日 (日本骨髓バンク) 地区普及広報委員・説明員研修会資料





千葉県のドナー助成制度の現状

◆ドナー助成制度とは

平成23年度に新潟県加茂市で初めて導入されて以来、全国の自治体が導入する骨髓提供者を支援するための**骨髓移植ドナー支援事業助成金制度**。

◆千葉県の助成補助制度の概要

- * 同制度(事業)は、**17年8月4日導入**され、**17年4月**に遡って適用された。
骨髓・末梢血幹細胞移植の促進のため、**①ドナー及び②そのドナーの従事する事業所**に対して市町村が助成金を交付した際に、その金額の**1/2を補助**する制度。

◆千葉県内のドナー助成制度導入の市町村(23年5月5日で)

*** 54市町村、全てが導入。導入率100%。**

- * 千葉市: ドナーに10万円/回、ドナー休暇を取得した場合会社に**1万円/日(最大7日)**
- * 船橋市: ドナーに**2万円/日(7日上限)**、ドナーの勤務する会社に**1万円/日(7日上限)**

◆千葉県内の最近14年間の骨髓提供者数 (概ね人口約12万人当たり1人の提供者)

24年度:67名、23年度:62名、22年度:58人、21年度:63人、20年度:61人、19年度:46人、18年度:46人、17年度:52人、16年度:47人、15年度:43人、14年度:55人、13年度:55人、12年度:46人、11年度:44人



千葉県でのドナー休暇制度導入について

◆ドナー休暇制度

骨髓・末梢血幹細胞提供をする場合、提供までに**8回前後**、**平日**の日中に医療機関へ出向きます。その日数を、ドナー自身の有給休暇を使うのではなく、勤務先がその休日を**特別休暇**として認めるのが「ドナー休暇制度」です。

◆ドナー休暇制度導入活動

- * 18年5月に**千葉県知事名**で県内の**経済関係5団体**に「ドナー休暇制度導入の整備・広報」について依頼書を出状いただきました。
- * 18年5月に**薬務課長名**で**県内各商工会議所会頭**に「ドナー休暇制度導入の整備」について依頼書を出状いただきました。
- * 千葉の会では、上記を受けて「**千葉県経営者協会**」を訪問し、導入依頼をしました。その結果同会の**会報442号**に休暇制度の記事が掲載されました。他に「**千葉県中小企業家同友会**」、「**千葉県中小企業団体中央会**」、「**千葉県商工会議所連合会**」を訪ね、導入依頼をしました。
- * 22年6月に再度千葉県知事名で**県内経済関係5団体及び商工会議所会頭**に「ドナー休暇制度導入の整備」について依頼書を出状いただきました。
- * 千葉の会では引き続き**県議会議員**、**市議会議員**と面談し、経済関係団体への働き掛けをお願いしています。

◆全国で一般企業の導入は、**880社**。
(25年3月末現在) でほとんど進んでいない。



骨髄バンクドナー

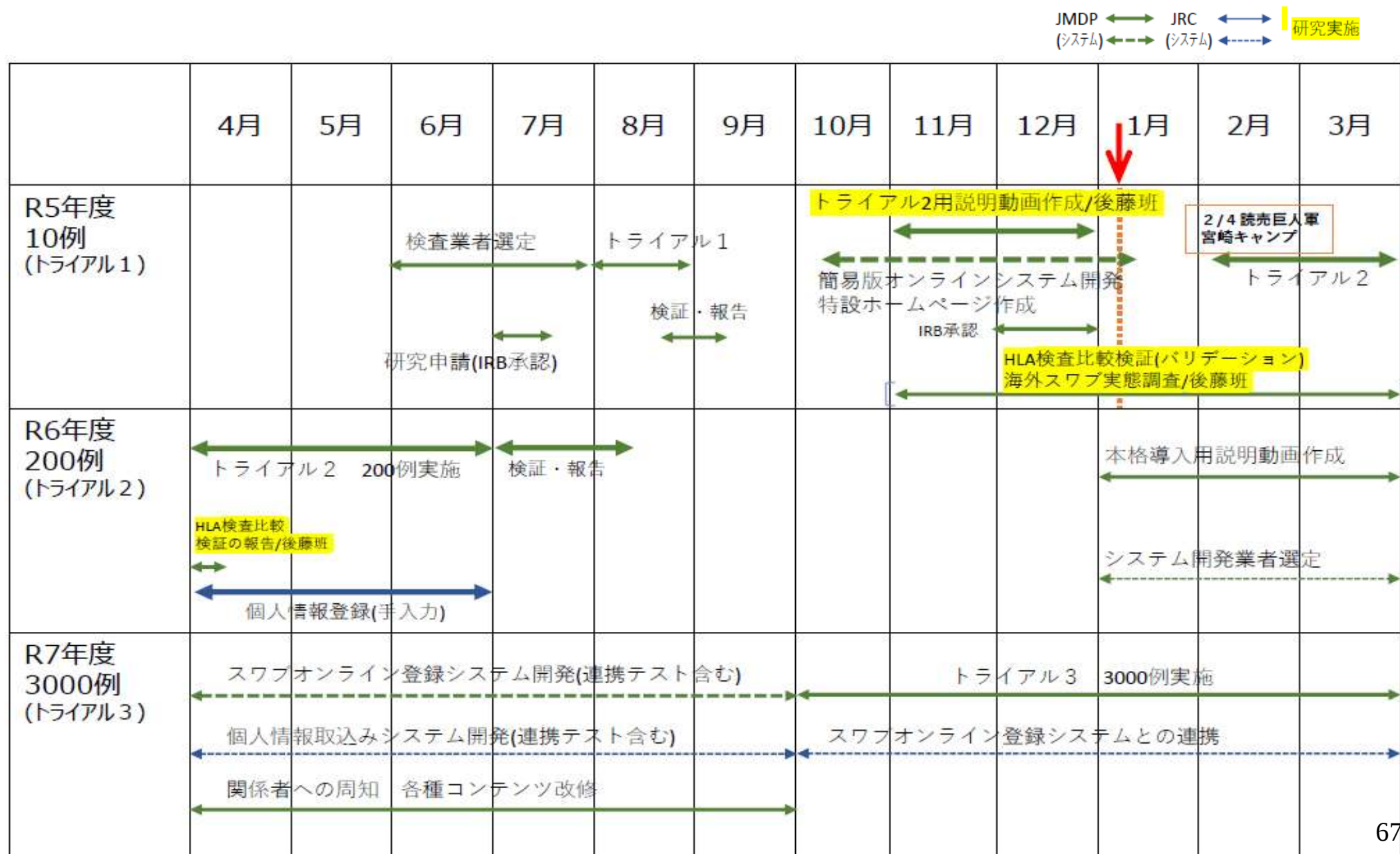
スワブ検査&オンライン登録導入に向けたロードマップ

補正予算が決定したことから、前倒して実施予定

R5 (2023) 年度	R6 (2024) 年度	R7 (2025) 年度	R8年度
トライアル1 10検体	トライアル2 200検体	トライアル3 3000検体 専用システム開発	スワブ検査&オンライン登録本格導入
検証内容 ・JMDP職員対象 ・検査キット取り寄せから採取、HLA検査結果取得までを確認 10月 トライアル1完了	検証内容 ・<u>イベント会場や学域等を対象</u>として規模を拡大 ・ドナーリクルートからオンライン登録、HLAデータのシステム反映まで<u>一連の流れと作業量を確認</u> 	検証内容 ・<u>献血会場以外でドナー登録を希望する人を対象</u> ・<u>専用システム開発後、オンライン登録を開始</u> ・本格導入前に現在の新規登録者の1/10規模で<u>運営体制等を確認</u>	



スワブ検査&オンライン登録導入に向けたロードマップ





千葉県造血幹細胞移植推進協議会 (25. 2. 25 ZOOM) での要望

24年度は、県主催の説明員養成講座受講者10名の内、4名が説明員資格を取り**献血併行登録会**に参加しつつあります。これらの方が定着されますよう、今後とも**ご支援**をお願い致します。

1. **ドナー休暇制度**導入については、**県内経済関係団体**へ都度働きかけをお願いしたい。
2. 4回目となる千葉県主催の「**ドナー登録説明員養成講座**」を開催いただきたい。
3. 上記により、定着する説明員を育成し、登録会への**説明員派遣の複数化**を図りたい。
4. また千葉の会の**説明員は高齢化**が進んでいるので、若返りを支援いただきたい。
5. **献血併行登録会の改善**について引き続きフォローいただきたい。
 - (1) 登録会場の**効率運用と改善**
 - ① **コストパフォーマンスの高い会場**での、効率の良い開催
 - ② **若い献血者**が多い献血会場での登録会開催増
 - ③ **新たな会場、大学、ショッピングセンター、企業、イベント会場**を開拓いただきたい
 - (2) 献血時の**登録会開催の声掛け**の更なる徹底
6. 今年度も「**骨髓バンクチャリティ コンサートと落語会**」を、11月24日(祝月)に成田市文化芸術センターで行う。**広報**で支援願いたい。
7. 一昨年度から骨髓バンクドナーの**スワブ検査 & オンライン登録導入**に向けた**トライアル**が始まった。**情報を把握**し、今後の対応を**主導**いただきたい。